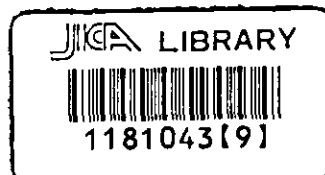


イラン・イスラム共和国 職業訓練視聴覚教材向上計画 終了時評価報告書

平成16年12月
(2004年)



独立行政法人 国際協力機構

人間開発部

人間
JR
04-46

**イラン・イスラム共和国
職業訓練視聴覚教材向上計画
終了時評価報告書**

平成16年12月
(2004年)

独立行政法人 国際協力機構

人間開発部



1181043【9】

序 文

イラン・イスラム共和国では、イラン・イラク戦争（1980-1989）終結後、経済の荒廃や若年層の急激な人口増加により、高い失業率が問題となっている。第三次国家開発計画（2000-2004）では、様々な方法で雇用の創出を図るとともに、開発計画の実現に必要な高度な技術力を持った人材を育成すべく、失業者、非熟練工、新規学卒者を対象に質の高い職業訓練の実施を目指している。

このような状況の下、イラン政府は、指導員養成機関である指導員訓練センター（ITC）における効果的な視聴覚教材作成技術の向上と、各指導員における指導技法の向上を目指し、右技術に関する技術指導と指導員訓練コースの設置・運営に係る協力を要請してきた。

これを受けて我が国は、3次にわたる短期調査を経て、2002年1月の実施協議調査団を派遣し、討議議事録（R/D）の署名・交換を行なった。その結果、技術協力プロジェクト「イラン国職業訓練視聴覚教材向上計画」は2002年6月1日より2005年5月31日まで3年間の予定で協力が開始された。

今般、プロジェクトの協力期間も残り半年となったことを受け、当初計画に対する活動進捗や技術移転状況を把握するとともに、プロジェクトの終了に向けて必要な対応を検討・提言するための終了時評価調査団を派遣した。この報告書は、同調査団の評価調査結果を取りまとめたものであり、今後のプロジェクトの展開に広く活用されることを願うものである。

最後に、今回の調査に協力を賜った内外の関係機関の皆様に、心より感謝申し上げます。

平成 16 年 12 月

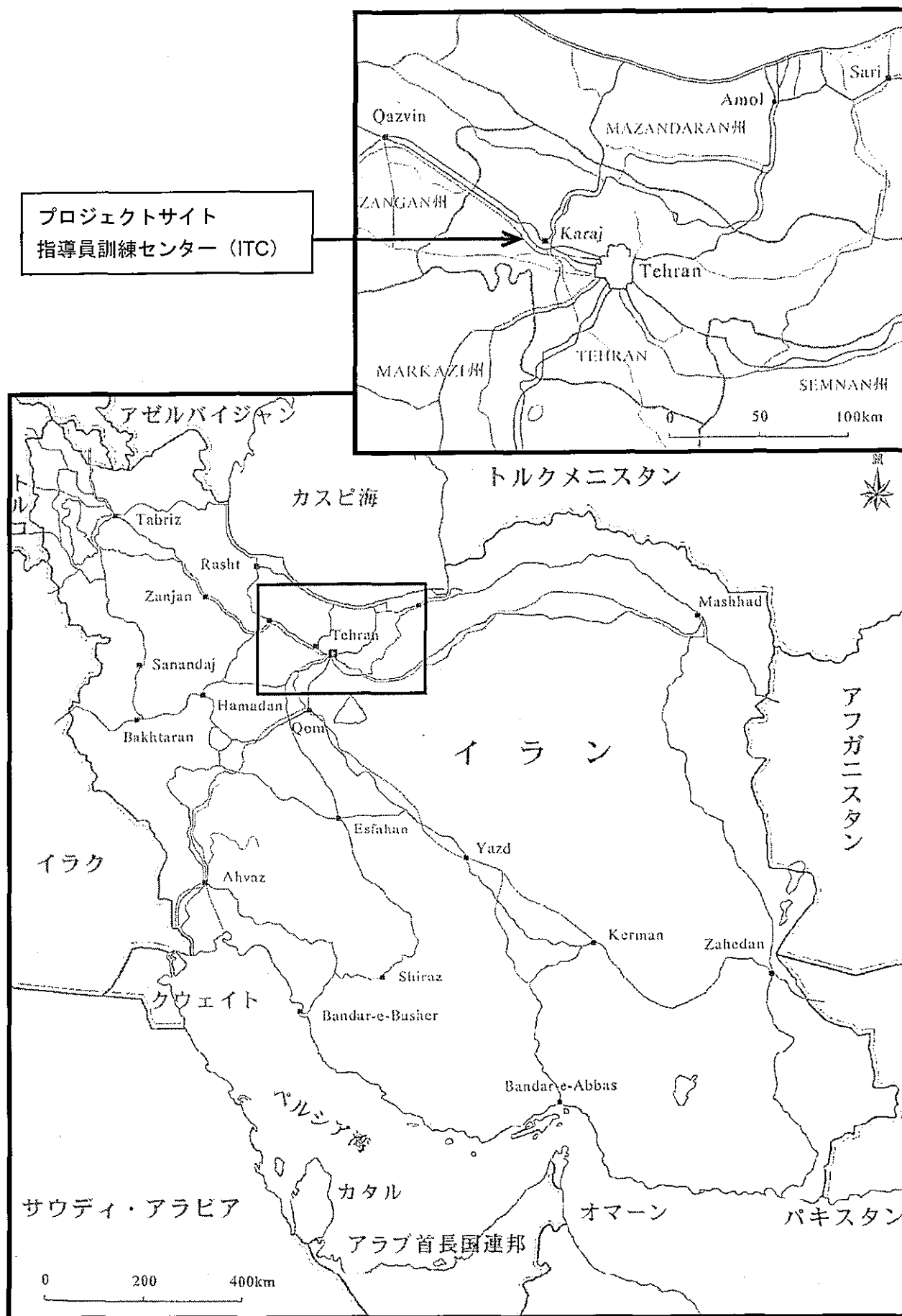
独立行政法人 国際協力機構
人間開発部部長 末森 満

目 次

序 文	
プロジェクトサイト位置図	
調査関連写真	
略語一覧	
評価調査結果要約表	
第1章 終了時評価調査の概要	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団構成	1
1-3 調査日程	1
1-4 主要面談者	2
1-4 プロジェクトの概要	3
第2章 終了時評価の方法	4
2-1 プロジェクト・デザイン・マトリックス	4
2-2 主な調査項目と情報・データの収集方法	4
第3章 プロジェクトの実績	5
3-1 投入実績	5
3-2 活動の実績	7
3-3 成果の達成度	8
3-4 目標の達成度	13
3-5 上位目標の達成見込み	14
3-6 分野毎に関する総合的考察	14
第4章 評価結果	17
4-1 評価5項目による評価	17
4-2 結論	19
第5章 提言と教訓	20
5-1 提言	20
5-2 教訓	22
5-3 その他	22
付属資料	23
1. ミニッツ（英文）	25
2. PDM（和文）	58
3. 評価グリッド	60

4. 専門家派遣実績.....	65
5. カウンターパートリスト.....	66
6. 研修員受入実績.....	67
7. 供与機材実績.....	69
8. ニーズ調査及び評価活動実績.....	72
9. 視聴覚教材制作作業計画.....	73
10. 視聴覚教材制作実績総表.....	75
11. マニュアルリストについて（説明）.....	76
12. マニュアルリスト.....	77
13. カウンターパートに対する保守管理に係る訓練記録.....	78
14. 指導員訓練分野実績総表.....	79
15. 指導員訓練分野活動項目別実績.....	80
16. 機材管理担当者リスト.....	87
17. カウンターパートによる保守管理作業記録.....	88
18. カウンターパートアンケート結果.....	89
19. 実績グリッド（和文）.....	90

プロジェクトサイト位置図



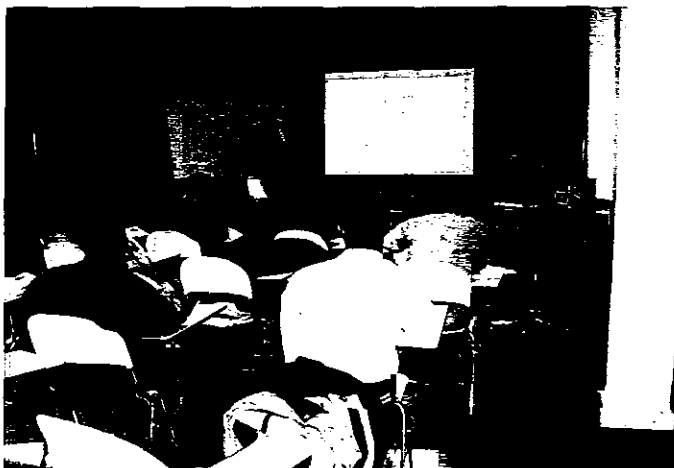
調査関連写真



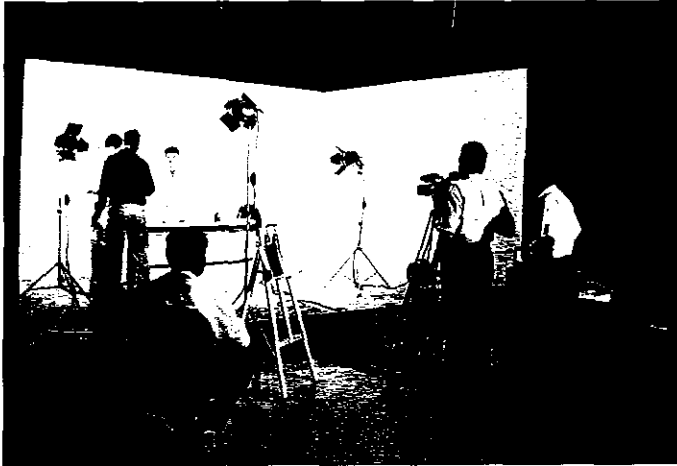
ITC（指導員養成センター）
AV 部門棟外観



視聴覚教材作成部門 編集用機材



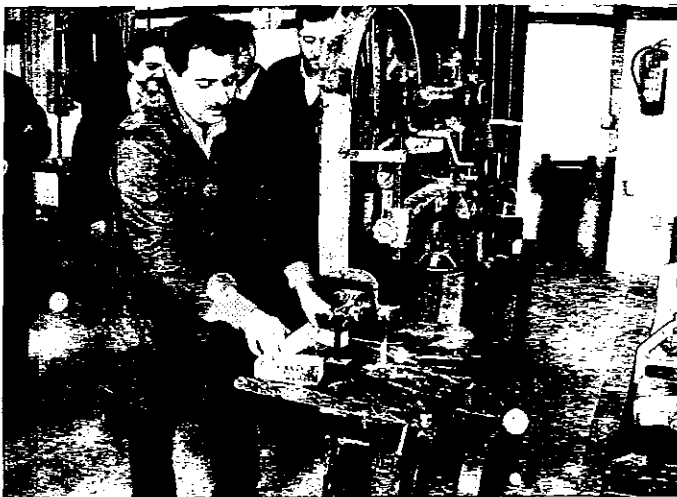
視聴覚教材作成 向上訓練コース
講義風景



視聴覚教材作成 向上訓練コース
撮影実習



指導技法 向上訓練コース 訓練生用教材



カラジ第一職業訓練センター
日本が供与した 40 年前の木工用機材

略 語 表

ITC	Instructor Training Organization	指導員訓練センター
MPO	Ministry of Planning Organization	企画庁
TVTC	Technical and Vocational Training Center	職業訓練センター
TVTO	Technical and Vocational Training Organization	職業訓練庁

評価調査結果要約表

本評価調査結果の要約表は以下のとおりである。

1. 案件の概要	
国名：イラン・イスラム共和国	案件名：イラン・イスラム共和国 職業訓練視聴覚教材向上計画プロジェクト
分野：職業訓練	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：人間開発部第二グループ技術教育チーム	
協力期間： 2002年6月1日～2005年5月31日	相手側関係機関：労働社会省 職業訓練庁（TVTO） 日本側協力機関：厚生労働省 雇用能力開発機構
<p>1. 協力の背景と概要</p> <p>イラン・イスラム共和国（以下、「イラン」と記載する）は、イラン・イラク戦争（1980-89）の終結以降、国土の荒廃を克服し経済再建するため数次に渡る国家計画を継続して実施して来たが、若年層の急激な人口増加もあって高い失業率が続いており、雇用創出が政府にとって急務となっている。第三次国家開発計画（2000-2004）においてイラン政府は、国営企業の民営化、非石油製品の輸出振興、製造業部門の活性化による雇用の創出など、多様な方法による雇用確保と失業対策を進めると同時に、開発計画の実現に必要な高度な技術力をもった人材を育成するため、失業者、新規学卒者、非熟練工を対象として、質の高い職業訓練を行うことを目標としている。しかしながら、現状では全国に約450か所設置されている職業訓練センターにおいては、高度な技術レベルでの質の高い職業訓練を行うために必要な、効果的な視聴覚教材及び指導技法が導入されておらず、職業訓練に対する社会のニーズに十分には応えきれていない状態である。</p> <p>このような背景から、イラン政府は、全国の職業訓練センター指導員の養成機関である指導員訓練センター（Instructor Training Organization：ITC）を対象とした、視聴覚教材制作技術及び指導技法の向上を目指したプロジェクトを計画し、同計画に対する支援を我が国に要請してきた。</p>	
<p>2. 協力内容</p> <p>PDMにおける上位目標、プロジェクト目標、成果及び投入は以下のとおりである。</p> <p>（1）上位目標</p> <p>職業訓練センター（Technical and Vocational Training Center：TVTC）において質の高い職業訓練が行われる。</p> <p>（2）プロジェクト目標</p> <p>ITCにおいて、職業訓練のための視聴覚教材制作技術及び指導技法の水準が向上する。</p>	

(3) 成果

- ①ITC に視聴覚教材開発・制作・使用に必要な機材が導入され、職員が機材の保守管理手法を習得し、常時使用可能な体制となる。
- ②ITC で適切なビデオ機材を用いたビデオ教材の開発・制作ができるようになる。
- ③ITC が、視聴覚教材制作と指導技法における、指導員訓練コースを運営できるようになる。

(4) 投入 (2002年6月～評価時点)

日本側：

長期専門家派遣：4名、短期専門家派遣：6名
機材供与：約146百万円（主要視聴覚教材制作機材＋供与機材）
現地業務費：15,441千円
研修員受入：12名

イラン側：

カウンターパート配置：14名（視聴覚教材8名、指導技法6名、両科科長を含む）
ローカルコスト負担：約52億リアル（約607,000米ドル）

なお、本終了時評価調査では、プロジェクトの計画に大きな変更がなかったことから、評価に際して、オリジナルのPDM（2002年1月のR/Dに添付されたもの）を使用している。なお、当初空欄となっていた成果の指標の一つである「カウンターパートの理解度」は、2002年10月6日の合同調整委員会（JCC）において、「85%以上」と定められており、本調査もこの指標を使用している。

II. 評価調査団の概要

調査者

渡辺元治（団長・総括）	：独立行政法人国際協力機構 人間開発部第二グループ技術教育チーム チーム長
佐藤まゆみ（訓練企画）	：厚生労働省職業能力開発局海外協力課 課長補佐
池田海童（協力企画）	：独立行政法人国際協力機構 人間開発部第二グループ技術教育チーム
藤川 学（評価分析）	：株式会社地域計画連合 取締役

調査期間：2004年12月4日～
2004年12月13日

評価種類：終了時評価

III. 調査結果の概要

1. 主な調査項目・協議内容

主な調査項目・協議内容は以下のとおりである。

- ①当初の活動計画に基づき、プロジェクトの投入実績、活動実績、計画達成度を調査し、プロジェクトの成果について確認した。
- ②プロジェクトの現状と問題点を分析し、協力終了の可否、ならびに今後必要となる活動や対応について検討を行った。
- ③評価5項目（目標達成度、効果、実施の効率性、計画の妥当性、自立発展性）の観点から、

プロジェクトチーム及びイラン側関係者とともに合同評価を実施した。

④プロジェクトチーム及びイラン側関係機関の双方に申し、必要な提言を行うとともに、協力の反省点をまとめ、類似案件の参考となるよう教訓を得た。

⑤プロジェクト終了に向けた活動方針について確認した。

2. 調査結果の要約

(1) 妥当性

イラン政府は、第3次国家開発計画（2000-2004）において、職業訓練や人材育成を優先課題として掲げており、また、現在策定中の第4次国家開発計画（2005-2009）においても引き続き、質の高い、ニーズに適した職業訓練を実施することが謳われ、その中で TVTO や ITC の果たすべき機能や役割が明示されている。さらに、本プロジェクトが、イラン国内で唯一の指導員養成機関である ITC をカウンターパートとして選定したことは、視聴覚教材及び指導技法の効率的に普及する観点から有効であった。

1999年に実施された日本・イランの政策協議では、イランに対する日本の援助施策の中で職業訓練の改善に重点が置かれている。また、JICAによって策定された国別事業実施計画（2004年6月）においても同様の内容が示されている。

以上より、職業訓練全体の質的向上を目指す本プロジェクトは、イラン及び日本の政策に合致し、ITCにおいて視聴覚教材作成技術と指導技法の移転を図るという計画は妥当なものであったと評価できる。

(2) 有効性

カウンターパートや指導員への聞き取りを通じ、プロジェクト成果が、実際の訓練実施において有効に活用されることが確認された。また、成果がプロジェクト目標（ITCにおいて、職業訓練のための視聴覚教材制作技術及び指導技法の水準が向上する）の達成に結びついていることも確認され、プロジェクトの目標はほぼ達成されたと評価できた。様々な訓練コースの実施やそれに対する参加者からの高い評価がそれを裏付けている。

視聴覚教材制作技術については、終了時評価までに17本のビデオ教材が完成し、残された協力期間内であと11本のビデオ教材が制作・配布される予定となっている。作成されたビデオ教材に対する TVTC の指導員や訓練生の評価は総じて高い。

指導技法に関しては、TVTC の指導員からのインタビューを通じて、本プロジェクトで実施された指導技法の訓練コースあるいはセミナーへの評価は高く、彼らの一部はその内容を直ぐに自分たちの講義に取り入れていることが確認されている。

2002年以降に実施された指導技法の訓練コースは指導員養成訓練が19回、向上訓練が2回、セミナーコースが4回となっている。総参加者数（実績）は1,135人であるが、プロジェクトの成果を反映する実績としては、2年目以降の804人である。残された協力期間内に新規に雇用された指導員向けの訓練が数回程度実施される予定である。

日本人長期専門家の評価、短期専門家によるテスト結果あるいはカウンターパートの自己評価によれば、カウンターパートの視聴覚教材制作及び指導技法の能力は格段に向上している。

(3) 効率性

日本側の人的な投入は、適切な時期に妥当な人数で実施されており、PDM に沿った活動を効率よく展開した。日本から供与された機材の多くは、適切な時期に計画通り ITC に設置された。

日本における研修については、満足していると答えたカウンターパートが大部分であったが、一部で期間が短すぎたとの回答もあった。

一方、イラン側の投入は、2名のカウンターパートの配置が約6か月遅れたものの、それ以外は R/D に沿ってほぼ適切に実施され、視聴覚教材部門で8名、指導技法で6名のカウンターパートが最終的にアサインされた。また、プロジェクト開始後、2名のカウンターパートが異動したが、総じて異動は少なく技術移転の効率性を高めるのに貢献した。

合同調整委員会 (JCC) 及び運営委員会 (SC) は、プロジェクトの進捗及び達成状況をモニタリングするために実施され、有効に機能している。

(4) インパクト

本プロジェクトが制作・配布したビデオ教材の数が少しずつではあるが着実に増加して、各 TVTC で活用されていること、また、ITC においてビデオ教材制作及び指導技法の訓練コースが開催され、その参加者が着実に増加している事実から、上位目標達成に向かって進んでいる過程にあると勘案される。

ビデオ制作時のシナリオ作成の依頼、あるいは指導技法の訓練コース参加を通じて、本プロジェクトは、視聴覚教材制作及び指導技法以外の ITC の他の部門のインストラクターを巻き込み、彼らの意識にも大きな影響を与えた。また、本プロジェクトは民間企業に対する支援を直接的に行っているわけではないが、ニーズ調査や評価活動を通じて、各地の TVTC の指導員に対して、民間企業との連携強化を促し、企業ニーズに合った訓練を行うための情報収集の場を生み出すこととなった。

(5) 自立発展性

現在策定中の第4次開発計画 (2005-2009) では、社会や民間のニーズに沿った職業訓練が一層求められ、職業訓練庁 (Technical and Vocational Training Organization : TVTO) や ITC の機能強化も謳われていて、政府からの制度的支援や国家予算の配分は、引き続き確保されるものと考えられる。プロジェクト開始後、ITC の所長は2度替わったものの、総じて、ITC の管理運営能力は高い。

技術移転はプロジェクト開始以降、日本人専門家によって成功裏に実施されている。カウンターパートの基礎的能力及び潜在力 (素質) は全体的に高く、既に相応の能力を身につけていて、自立発展も可能であると結論づけられる。これは、本終了時評価で実施したインタビューやアンケート結果、日本人専門家の評価や試験結果あるいはカウンターパートの自己評価からも裏付けられる。

しかしながら、今後とも TVTC や民間部門のニーズを踏まえた、技術や理論の変革に応じたレベル向上への努力が必要である。また、ビデオ関連機材に対する日常の保守管理は特に問題ないが、今後、発生する定期点検あるいは予期せぬ故障等への対応能力は現時点では十分とは言い難い。

2. 阻害・貢献要因の総合的検証

(1) 効果発現に貢献した要因

日本人専門家及びカウンターパート相互の努力によって、技術移転が着実に実施された。

また、本プロジェクトの開始以降、主要なカウンターパートの異動が少なく、プロジェクトの円滑な運営に大きく寄与している。

(2) 問題点及び問題を惹起した要因

プロジェクトドキュメントで試算された指導員訓練数の目標値は、TVTO が独自に指導員を採用できず、企画庁 (Ministry of Planning Organization : MPO) やその他の省庁も承認が必要であるイラン側の制度を勘案すると、多少過大な数値であった。現在、新規指導員の選考・採用は最終段階を迎えており、残された協力期間内に新たに採用された指導員に対する訓練が数回程度実施されることが期待される。

3. 結論

プロジェクトは全体として成功裏に実施された。日本人専門家の貢献及びイラン側カウンターパートの努力が、インタビューや意見交換を通して確認されている。

しかしながら、残された協力期間において、TVTC のニーズに合致した視聴覚教材を制作し、指導技法の訓練コースを着実に実施するには、カウンターパートの継続的な努力が不可欠である。

前述の調査結果から、相応のフォローアップの必要性はあるものの (4. 「提言」参照)、2005 年 5 月末までにプロジェクト目標は計画通り達成されるとの結論に達した。

4. 提言

プロジェクトの現状の課題の解決及び今後のプロジェクトの成果の向上につなげるため、以下の事項が提言として確認された。

- ①視聴覚教材作成をより効率的に実施するために、TVTO 研究部門、ITC 及び関係する指導員から構成される作業グループを設置する必要がある。
- ②配布する情報メディアとして、ビデオテープだけでなく VCD (ビデオ CD) も考慮するなど、視聴覚教材をより効率的に配布・普及するために、TVTO は必要な措置をとる必要がある。
- ③新規に採用される指導員のための訓練及び現職指導員のための向上訓練は、十分に計画し、体系的に実施する必要がある。
- ④視聴覚教材制作及び指導技法の訓練コースの改善について助言し、また、視聴覚教材及び指導技法の普及をモニターするために、日本人専門家の約 1 年間のフォローアップ活動を検討する必要がある。
- ⑤視聴覚関連機材の定期点検 (オーバーホール) とその技術指導のために、日本人短期専門家の派遣を検討する必要がある。
- ⑥プロジェクトで開発した視聴覚教材や指導技法の提供を通じて、ITC、TVTO と民間訓練所等との連携を強化する必要がある。
- ⑦プロジェクトのオーナーシップの観点から、イラン側は、プロジェクトの予算 (特に部品代や消耗品費) 確保に留意する必要がある。
- ⑧ITC 及び TVTO の管理者は、特に協力期間終了後、本プロジェクトの自立発展のために主体的に関与する必要がある。

5. 教訓

- ①視聴覚教材は配布が比較的安価で容易であり、当該国全体への職業訓練の質の向上や拡大に有効な手段といえる。また、イランで開発された視聴覚教材は、同国内に限らず類似の言語が使用されている周辺国／地域に普及させることも可能である。
- ②3年間の協力期間で実施される技術協力プロジェクトでは、スケジュールの修正に困難が伴うため、必要な投入（機材及び人員の配置）が計画に従って適時に実施されることが非常に重要である。

6. その他

イラン側から、TVTO に対する技術的な支援の継続を希望する旨の発言があった。

第1章 終了時評価調査の概要

1-1 調査団派遣の経緯と目的

イランでは、イラン・イラク戦争終結後、経済の荒廃や若年層の急激な人口増加により、高い失業率が問題となっている。第三次国家開発計画（2000 - 2004）では、様々な方法で雇用の創出を図るとともに、開発計画の実現に必要な高度な技術力を持った人材を育成すべく、失業者、非熟練工、新規学卒者を対象に質の高い職業訓練の実施を目指しているが、現状では全国約450校の職業訓練センター（TVTC）における訓練体制は確立できていない。

このような状況の下、イラン政府は、職業訓練センターにおいて質の高い職業訓練を実施するため、指導員養成機関である指導員訓練センター（ITC）を対象として、効果的な視聴覚教材作成技術の向上を図るとともに、各指導員における指導技術の向上を目指して右技術に関する指導員訓練コースの設置・運営にかかる協力を要請してきた。

これを受けてわが国は、3次にわたる短期調査を経て、2002年1月の実施協議調査団において、上記を目的とするプロジェクトの実施 R/D に合意し、2002年6月1日より2005年5月31日にかけて3年間の協力を開始した。

今般、プロジェクトの協力期間も残り半年となったのを受け、プロジェクトの活動進捗を確認し、成果を把握するとともに、プロジェクトの終了に向けて必要な対応を検討・提言するための終了時評価調査を実施した。

1-2 調査団構成

団長／総括	渡辺 元治	JICA 人間開発部第二グループ技術教育チーム	チーム長
職業訓練	佐藤 まゆみ	厚生労働省職業能力開発局海外協力課	課長補佐
評価分析	藤川 学	株式会社 地域計画連合	取締役
協力企画	池田 海童	JICA 人間開発部第二グループ技術教育チーム	

1-3 調査日程

日程	活動
11月25日（木）	〔コンサル団員〕日本発
12月3日（金）	〔官団員〕日本発
12月4日（土）	〔官団員〕テヘラン着 プロジェクトと協議
12月5日（日）	AM 在イラン日本大使館 表敬（伊藤公使） PM 職業訓練庁との協議
12月6日（月）	AM 職業訓練庁長官表敬 PM ミニッツ協議（職業訓練庁） 労働社会省国際関係局長 表敬
12月7日（火）	AM 職業訓練センター（カラジ第3訓練センター）訪問 PM 指導員養成センターとの協議、カウンターパートへのインタビュー
12月8日（水）	団内協議
12月9日（木）	調査結果分析・資料整理
12月10日（金）	ミニッツ作成

日程	活動
12月11日(土)	AM 職業訓練センター(カラジ第1訓練センター、女子訓練センター) PM 指導員養成センターとの協議、カウンターパートへのインタビュー
12月12日(日)	AM 合同調整委員会開催、ミニッツ署名交換 PM 在イラン日本大使館 報告
12月13日(月)	[全団員] テヘラン発
12月14日(火)	[全団員] 日本着

1-4 主要面談者

(1) 労働社会省 Ministry of Labor and Social Affairs (MoLSA)

Mr. Seyed Hasan HEFDAHTANI Director General of International Relations

(2) 職業訓練庁 Technical and Vocational Training Organization (TVTO)

Dr. Mohammad Amin SAZGARNEJAD President
 Mr. Rahmatollah RAHMATI Vice President
 Dr. Samad IZADI Deputy, Technical and Vocational Training
 Mr. Hamid MANSOORNIA Deputy, Research and Development
 Mr. Mohammad Ghasem AKBARI Executive Director of Training
 Mr. Reza SAIDI Consultant, International Relations
 Mr. Parviz IMANI Director of Planning Office
 Mr. Masood AGHLAMI Director of Training for industries
 Mr. Koorosh SHAKERI Director of Examination
 Mr. Alireza TAHERPOOR Director of Training for agriculture and food industries
 Mr. Majid TEHRANIAN Director of Training for private institutions

(3) 指導員養成センター Instructor Training Center (ITC)

Dr. Seyed Zainolabedin MOOSAVI Head
 Dr. Seyed Mohammadhoseyn Hoseyni Deputy, Finance and Administration
 Mr. Reza BAJOLVAND Deputy, Technical and Vocational Training
 Mr. Amir LARI Coordinator
 Mr. Rassool KHOSHIDEH Supervisor of AV Department
 Mr. Farshid BORHAN AZAD Supervisor of PG Department

(4) 中央州 職業訓練庁支部 Branch office of TVTO in Markazi Province

Mr. Bahram NAJAFIZADEH General Manager
 Mr. Nadar FAKHRI Deputy General Manager (Training & Research)

(5) 中央州 職業訓練センター Technical and Vocational Training Centers (TVTCs) in Markazi Province

Mr. KARIMI Head, TVTC No. 4
 Ms. Monireh JOKAR Head, TVTC No. 7

(6) カラジ地域 職業訓練庁支部 Branch office of TVTO in Karaj Region

Mr. Seyed Akbar Ahad Zadeh	General Manager
Mr. Jamshid ASADI	Deputy General Mnager (Finance & Administration)
Mr. Mohsen GORGI	Deputy General Mnager (Training & Research)

(7) カラジ地域 職業訓練センター Technical and Vovational Training Centers (TVTCs) in Karaj Region

Mr. Seyed Reza Nayyeri Gilani	Head, TVTC No. 1
Mr. Abolghasem SHAHSAVAN	Head, TVTC No. 3
Ms. ASGARI	Vice Head, TVTC No. 5 (Alzafra)

(8) 在イラン日本国大使館 Embassy of Japan

伊藤 秀樹	公使
涌井 純二	JICA 専門家 (援助調整)

(9) プロジェクト Japanese Experts at ITC

海前 嘉明	チーフアドバイザー
加藤 大二郎	業務調整員
富永 明	視聴覚教材
廣川 勝	指導技法
Mr. Gholamreza NOSRATIEH	Consultant of the Japanese Experts

1 - 4 プロジェクトの概要

PDM におけるプロジェクトの枠組みは以下のとおりである。

(1) 上位目標

職業訓練センター (TVTC) において質の高い職業訓練が行われる。

(2) プロジェクト目標

指導員訓練センター (ITC) において、職業訓練のための視聴覚教材制作技術及び指導技法の水準が向上する。

(3) 成果

- ① ITC に視聴覚教材開発・制作・使用に必要な機材が導入され、職員が機材の保守管理手法を習得し、常時使用可能な体制となる。
- ② ITC で適切なビデオ機材を用いたビデオ教材の開発・制作ができるようになる。
- ③ ITC が、視聴覚教材制作と指導技法における、指導員訓練コースを運営できるようになる。

第2章 終了時評価の方法

2-1 プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM)

2002年1月のR/Dに添付された当初のプロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) をレビューした。

プロジェクト計画に大きな変更はなかったことから、日本側及びイラン側の双方から、この当初PDMを変更する要望はなく、不都合も認められなかったので、今次、終了時評価調査においても、基本的に当初PDMを利用することとした。なお、2002年10月6日に開催された合同調整委員会(JCC)において、空欄になっていた各成果の指標の一部である「カウンターパートの理解度」について、「85%以上」とイラン側と合意しており、この指標を利用することとした。

2-2 主な調査項目と情報・データの収集方法

本終了時評価調査は日本側評価団員とイラン側評価団員によって実施された。本終了時評価調査では、本プロジェクトの投入・成果・目標達成度といった実績を計画に対して評価するとともに、評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、自立発展性）を基準として評価を行った。

本プロジェクト評価のための主な調査項目は以下のとおりである。

- プロジェクトの活動、管理・運営状況、カウンターパートへの技術移転状況について、日本人専門家、カウンターパート、その他関係者からのヒアリング及びアンケート等を通じて情報を収集し、イラン側関係者と協議を行って情報を共有し、分析を行う。
- プロジェクトのPDMに基づく評価5項目の観点から、プロジェクトの達成度を判定、評価するとともに、成果及び目標の達成を阻害した要因についても分析する。
- 評価結果について、日本側・イラン側双方で確認した上で、残された協力期間及び協力期間終了後のプロジェクトの活動について検討し、提言を行う。

第3章 プロジェクトの実績

3-1 投入実績

3-1-1 日本側投入

本プロジェクトに対して日本側から以下の投入があった。

(1) 専門家の派遣

2004年11月までに長期専門家4名、短期専門家6名を派遣した。

氏名	指導分野	派遣期間
長期専門家		
海前嘉明	チーフアドバイザー	2002年5月29日～2005年5月31日
加藤大二郎	業務調整員	2002年5月29日～2005年5月31日
廣川 勝	指導技法	2002年6月1日～2005年5月31日
富永 朗	視聴覚教材制作	2002年5月29日～2005年5月31日
短期専門家		
松浦孔政	職業訓練視聴覚教材向上	2002年11月25日～2002年12月22日
森 正夫	機材メンテナンス	2003年5月23日～2003年6月4日
伊東 丈	ビデオ教材制作監修	2003年8月11日～2003年9月7日
植木正徳	管理者訓練計画	2003年8月25日～2003年10月5日
石本直幸	ビデオ教材制作監修	2003年11月23日～2003年12月19日
中村健次	映像機材メンテナンス	2004年2月14日～2004年3月9日

ミニッツ Annex 5 参照

(2) 機材の供与

日本側は、ビデオスタジオ・システム及びビデオ編集機材を中心に必要な機材を供与した。2002年6月～2004年3月までに供与された機材の総額は145,505千円である。

(3) ローカルコストの負担

日本側は本プロジェクトに必要な現地運営予算を計上し執行した。負担額は以下のとおり。

単位：千円

日本の会計年度	2002年度	2003年度	2004年度 (9月まで)
ローカルコスト	7,290	6,151	2,000

(4) 研修員の受入

以下の12名の指導員が日本で研修を受けた他、現在、1名が日本で研修中である。

(視聴覚部門)

氏名	研修科目	受入期間	受入先
Mohsen ELAHI	ビデオ機材メンテナンス	2003年1月5日～ 2003年3月6日	ソニー
Mansour BABAKHANI	デジタルビデオ制作	2003年8月19日～ 2003年12月12日	JICA 沖縄
Mohsen TAVALLAIE	デジタルビデオ制作	2003年8月19日～ 2003年12月12日	JICA 沖縄
Mohammad Reza TORABI	デジタルビデオ制作	2003年8月24日～ 2003年12月18日	JICA 沖縄
Hasan TAGHIZADEH	ビデオ機材メンテナンス	2004年10月4日～ 2004年11月9日	ソニー
Rassool KHOSHIDEH	ビデオ機材メンテナンス	2003年1月5日～ 2003年3月6日	ソニー
Faramarz ROSTAMI	ビデオ機材メンテナンス	2003年10月8日～ 2003年11月21日	ソニー
Gholam Reza HASHEMI	ビデオ機材メンテナンス	2004年10月4日～ 2004年11月9日	ソニー

(指導技法部門)

氏名	研修科目	受入期間	受入先
Farshid BORHAN AZAD	訓練管理	2002年10月8日～ 2002年11月22日	海外職業訓練協会 (OVTA)
Jamshid ASADI	訓練管理	2003年6月10日～ 2003年7月27日	海外職業訓練協会 (OVTA)
Ali ESMAIELZADEH	指導技法向上	2003年10月7日～ 2003年11月21日	海外職業訓練協会 (OVTA)
Naser KOSARI	指導技法向上	2003年10月7日～ 2003年11月21日	海外職業訓練協会 (OVTA)

ミニッツ Annex 7 参照。

3 - 1 - 2 イラン側投入

イラン側から以下の投入があった。

(1) カウンターパートの配置

技術移転の対象となる2部門において、カウンターパートとして14名の指導員(科長を含む)が配置された。なお、配置された指導員数はR/Dに記載された人数(14名)と同じである。

分野	カウンターパート数
視聴覚部門	8(8)
指導技法部門	6(6)
合計	14(14)

ミニッツ Annex 6 参照。()内の人数は、R/Dに記載された計画数。

(2) 土地・施設等の提供

日本人専門家用の執務スペース、日本側が供与した機材等の保管スペース、通勤用車両（運転手の手配を含む）などがイラン側から提供された。

(3) ローカルコストの負担

イラン側は、以下のようなローカルコストを負担した（合計約 51.6 億リアル：607,000 米ドル）。

単位：百万リアル

イランの会計年度（注参照）	1381 年度	1382 年度	1383 年度 (10 月まで)
ローカルコスト	4,040.9	692.2	429.3

注) 1381 年度: 2002 年 3 月 20 日～2003 年 3 月 19 日

1382 年度: 2003 年 3 月 20 日～2004 年 3 月 19 日

1383 年度: 2004 年 3 月 20 日～2005 年 3 月 19 日

3 - 2 活動の実績

PDM に基づいた活動計画とその結果は以下のとおりである。

活動計画	調査結果
1-1 機材の調達及び保守作業に係る計画を作成する。	機材調達及び保守に関する作業計画が策定された。
1-2 必要機材の調達及び据え付けを行う。	必要な機材は適切に設置された。
1-3 機材の日常保守管理マニュアルを作成する。	ビデオ関連機材の日常保守管理マニュアルが作成された。
1-4 視聴覚部門スタッフへの保守管理技術の訓練を実施する。	保守管理技術に関する 4 回の訓練が実施された。
1-5 保守管理マニュアルに沿った機材整備を行う。	日常保守管理マニュアル沿った管理が実施されている。
2-1 ビデオ教材制作に係るニーズアセスメント及び評価作業を実施する	ビデオ教材制作のための、ニーズ調査及び評価活動が 3 回実施された。
2-2 ビデオ教材制作に係る作業計画を作成する。	作業計画書が作成された。
2-3 ビデオ教材制作に係る訓練マニュアルを計画・開発する。	10 本のビデオ制作教材用のマニュアルと 24 本の機器操作マニュアルがそれぞれ開発された。
2-4 視聴覚部門スタッフへのビデオ教材制作方法に関する訓練を実施する。	ビデオ制作技術に関する訓練コースが、長期専門家、短期専門家及びイラン国営テレビ局専門家によって実施された。
2-5 視聴覚部門スタッフがビデオ教材を制作する。	2003 年 9 月～2004 年 10 月までに 10 分野、17 本のビデオ教材が作成された。
3-1 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースに係るニーズアセスメント及び評価作業を実施する。	両部門でニーズ調査及び評価活動が実施された。
3-2 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースに係る作業計画を作成する。	両部門で作業計画書が作成された。
3-3 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースに係るカリキュラムを開発する。	両部門でカリキュラムが開発された。
3-4 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コ	両部門でマニュアルが開発された。

ースに係る視聴覚部門と指導技法部門のスタッフを対象とするマニュアルを開発する。	
3-5 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースに係る、受講者用訓練教材を開発する。	両部門で訓練用教材が作成された。
3-6 視聴覚教材と指導技法における指導員訓練コースを実施する。	両部門で訓練コースが実施された。

活動状況のモニタリングは、合同調整委員会（JCC）及びプロジェクト運営委員会（SC）が行っており、両委員会は有効に機能している。

PDM については、当初 PDM からの変更はないものの、成果の一部の指標（カウンターパートの理解度）を合同調整委員会で確定した。本終了時評価ではその指標を利用した。PDM の外部条件の変化は見られない。

カウンターパートと日本人専門家は良好な関係（コミュニケーション）を築いており、問題意識を共有している。プロジェクト開始後、ITC の所長は 3 人目となるが、総じて、カウンターパートのプロジェクトに対するオーナーシップの意識は高い。

3 - 3 成果の達成度

活動を通じた成果の達成度は PDM の指標によって計られる。

成果 1. ITC に視聴覚教材開発・制作・使用に必要な機材が導入され、職員が機材の保守管理手法を習得し、常時使用可能な体制となる。

作業計画及びモニター用シートは 2002 年に作成された。

2003 年 9 月には、視聴覚機材用の日常保守管理マニュアルが整備された。また、以下のような保守管理の訓練コースが短期専門家及びイラン国営テレビの専門家によって 4 回実施された。

回数	担当者	内容	時期	時間	出席者
1	短期専門家による訓練	メンテナンス技術全般	2003/5/24～ 2003/6/2	終日	8名（カウンターパート全員）
2	国営テレビ局専門家による訓練	テレビ基礎技術	2003/5/14～ 2003/7/23	1日4時間 合計9回	8名（カウンターパート全員）
3	短期専門家による訓練	メンテナンス技術全般	2004/2/14～ 2004/3/9	終日	5名
4	国営テレビ局専門家による訓練	メンテナンス技術全般	2003/10/1～	週1回	5名

日常的な機材の保守管理は全カウンターパートが行っているが、特に両部門のカウンターパート各 1 名を保守管理責任者として指名している。保守管理記録はカウンターパートによって作成され、適切に管理されている。

日本人長期専門家による評価、短期専門家が実施した試験結果及びカウンターパートによる自己評価によれば、この成果に関する「カウンターパートの理解度」は平均して 85%以上となっている。

また、日本人専門家による、この成果に関係した技術移転は成功裏に行われており、本終了時評価

の際に実施したカウンターパートへのアンケート結果を見ても、彼らの大部分が所属する部門における主要な技術において自信をもっているのがわかった。

成果 2. ITC で適切なビデオ機材を用いたビデオ教材の開発・制作ができるようになる

ビデオ教材制作のための、ニーズ調査及び評価活動が以下のように 3 回実施された。

目的	実施時期	調査項目	対象
現状把握	2002年 7月～11月	AVスタッフ数、保有機材、保有教材	TVTC
ビデオ教材制作コースの選定	2002年12月～2003年2月	ビデオ制作を希望するコース	職業訓練庁 (TVTO) 支部
ビデオ教材の評価	2003年10月～	理解度、時間、効果、質	該当するセンター

週間、月間、年間の作業計画は 2002 年に作成され、その後、必要に応じて見直されている。

また、以下に示すように、10 本のビデオ制作教材用のマニュアルと 24 本の機器操作マニュアルがそれぞれ整備された。

ビデオ教材制作	ビデオ制作教材	1	AV-1	Lets Make Video Training Aids
		2	AV-2	An Introduction to video shooting
		3	AV-3	Camerawork
		4	AV-4	Lighting
		5	AV-5	Video Editing
		6	AV-6	Special Video Editing Techniques
		7	AV-7	Sound Recording and Editing
		8	AV-8	Script writing
		9		Technical Cooperation and video
		10		Script Writing for Video
	機器操作	1	Digital videocassette Recorder	1800/1800p
		2	Digital videocassette player	1600/1600p
		3	Digital Camcorder	
		4	Editing Control Unit	
		5	DME Switcher	700A/700AP
		6	Color Video Camera	
		7	Digital videocassette Recorder	DSR-1/1P
		8	LCD Data Projector VPL	
		9	Trinitron Color Video Monitor	
		10	Audio Mixer	SRP-V200
		11	PAL VECTORSCOPE	LEADER5851V
		12	Camera Adaptor	CA-TX7/TX7P
		13	WAVEFORM MONITOR	LEADER5860V-5861V
		14	Digital Limiter/Delay	SRP-L300
15	Digital video Cassette Recorder	DSR-30,DSR-30P		
16	Video Cassette Recorder	SLV-ED100ME/ML/ML		
17	Visual Presenter	ELMOHV-5500XG		
18	Compact Disk player	GDP-D11		
19	Stereo Cassette Deck	TASCAM122MKIII/112RMKII/112MKII		
20	Trinitron Color Video Monitor			
21	Camera Control Unit			
22	Remote Control Panel			
23	Standards Convertor			
24	Videocassette Recorder	PVW-2800P		

注) これらは全て既存のビデオ制作教材及び機器操作マニュアルをペルシャ語に翻訳の上、これをベースに作成したものである。

また、以下に示すように、ビデオ制作基礎技術（編集、シナリオ作成、照明）、ビデオ制作、音声技術に関する訓練コースが、長期専門家、短期専門家及びイラン国営テレビ局専門家によって実施された。

回数	担当者	内容	時期	時間	出席者	備考
1	長期専門家による訓練	ビデオ制作基礎技術 (編集)	2002/7/2~ 2002/9/28	1日2時間 週2回	6名 (カウンターパート全員)	当初C/Pは6名のみ配置
2	短期専門家による訓練	ビデオ機器操作技術	2002/11/26~ 2002/12/21	終日	8名 (カウンターパート全員)	
3	長期専門家による訓練	ビデオ制作基礎技術 (シナリオ作成)	2002/12/25~ 2003/1/6	1日2.5時間 合計6回	8名 (カウンターパート全員)	
4	長期専門家による訓練	ビデオ制作 (試作)	2003/1/7~ 2003/2/10	終日	6名	C/P2名は本邦研修中
5	長期専門家による訓練	ビデオ制作基礎技術 (照明)	2003/6/8~ 2003/6/14	1日2.5時間 合計3回	8名 (カウンターパート全員)	
6	国営テレビ局専門家による訓練	音声技術 (マイク、ミキサー)	2004/4/28~ 2004/7/7	1日3時間 合計10回	8名 (カウンターパート全員)	

2003年9月～2004年10月までに10分野における17本のビデオ教材が作成された。10分野とは、自動車整備、電子、CNC、工業電子、情報技術(IT)、アーク溶接、溶接試験、電子油圧・空気圧、自動車電機及び視聴覚教材である。

TVTC指導員における、これらの視聴覚教材の評価は総じて高い。

日本人長期専門家による評価、短期専門家が実施した試験結果及びカウンターパートによる自己評価によれば、この成果に関する「カウンターパートの理解度」は平均して85%以上となっている。

また、日本人専門家による、この成果に関係した技術移転は成功裏に行われており、本終了時評価の際に実施したカウンターパートへのアンケート結果を見ても、彼らの大部分が所属する部門における主要な技術において自信をもっているのがわかった。

成果3. ITCが、視聴覚教材制作と指導技法における、指導員訓練コースを運営できるようになる。(視聴覚部門)

以下に示すように、視聴覚部門において三つのニーズ調査及び評価活動が実施された。

	実施時期	調査項目	対象
現状把握	2002年7月～11月	理解度テスト、カリキュラム見直し	TVTC
訓練コースの把握	2003年7月～2004年5月	経歴、希望する訓練、期間	TVTC AV指導員
訓練コースの評価	2004年8月～10月	訓練の内容、時間、講師の質、満足度	コース参加者

週間、月間、年間の作業計画は2003年11月に作成された。

2004年5月に基礎知識、シナリオ作成、撮影、照明、編集に関する5冊のマニュアルと視聴覚教材制作のためのカリキュラム(基礎知識、シナリオ作成、撮影、照明、編集、プレゼンテーション及び評価)が開発された。同時に、3種類の教材が整備された。

また、第1回のビデオ制作コース(向上訓練コース:訓練時間90時間)が2004年8月21日～9月8日にかけて実施された。参加者数は7名(定員8名)であった。第2回目は2004年11月27日～12月15日に実施され、参加者は6名であった。

日本人長期専門家による評価によれば、この成果に関する「カウンターパートの理解度」は平均して85%以上となっている。

(指導技法部門)

以下に示すように、指導技法部門において4回のニーズ調査が実施された。

実施時期	調査項目	対象	備考
2002年7月～8月	ITCのPedagogy訓練に関する要望等	TVTC	AV部門と共同で実施
2002年11月～12月	各TVTO支部での民間指導員養成訓練の問題点、ITCのPedagogy訓練についての問題点等	TVTO支部 指導員	Pedagogy部門のみ
2003年1月～2月	TVTCでの訓練の現状及び新Pedagogy基準等	TVTC 指導員	Pedagogy部門のみ
2003年1月～2月	指導技法に関する課題、要望等	TVTC 指導員	AV部門と共同で実施

また、プロジェクト2年目の2003年にTWI訓練及びマネジメント訓練についての以下のようなアンケート調査を実施した。

実施時期	調査項目	対象	備考
2003年6月～7月	TWI訓練に対する要望等	TVTC TWI指導員	
2003年10月	マネジメントコース開発についての意見	セミナー参加者	

週間、月間、年間の作業計画は2002年に作成され、その後は必要に応じて見直された。

新規指導員養成訓練コース、向上訓練コース及び管理者用の訓練カリキュラム（訓練計画、指導技法、指導技術、訓練評価等）が2002年から2003年にかけて開発された。

また、同時期に、新規指導員養成訓練コースにおいて、訓練計画及び指導技法に関する5冊のマニュアルと2冊の教材が、向上訓練コースにおいて、4冊のマニュアルと4冊の教材がそれぞれ作成された。

実施された訓練コースは以下のとおりで、指導員養成訓練が19回、向上訓練が2回、セミナーコースが4回となっている。総参加者数（実績）は1,135人であるが、プロジェクトの成果を反映する実績としては、2年目以降の804人である。

① 指導員養成訓練

（PG資格未取得者コース）

実施時期	内容	回数	訓練生数（人）	備考
2002年	指導員養成コース	3	81	PG資格未取得者とは、指導員としてTVTOに採用された者であるが、採用時Pedagogyコースを受講できなかった指導員をいう。
2003年	指導員養成コース	2	53	

(パブリックサービス コース)

実施時期	内容	回数	訓練生数 (人)	備考
2002 年	指導員養成コース	5	250	パブリックサービス コースとは、徴兵制度による約 2 年間の兵役期間のうち、兵役訓練 (2 か月) を終えた者で、残りの期間 TVTC において職業訓練指導員の補助として勤務を希望するものに対する訓練をいう。
2003 年	指導員養成コース	5	210	
2004 年 (10 月 28 日現在まで)	指導員養成コース	3	115	

(職種転換コース)

実施時期	内容	回数	訓練生数 (人)	備考
2003 年	指導員養成コース	1	38	職種転換コースとは、TVTO の職員で、指導員への職種転換を希望する者に対する訓練をいう。

② 向上訓練

実施時期	内容	回数	訓練生数 (人)	備考
2004 年	向上訓練セミナー (訓練計画及び訓練技法)	2	123	参加者：TVTC の指導員 訓練計画セミナー (53 人参加) 訓練技法セミナー (70 人参加)

③ Pedagogy セミナーコース

実施時期	内容	回数	訓練生数 (人)	注記
2002 年	日本の職業訓練システム紹介	1	12	参加者：TVTO 本部の研究開発部員
2003 年	MTP (管理者訓練) セミナー (短期専門家植木氏により MTP セミナーを実施)	1	60	参加者：TVTC の企業訓練関係担当者
	新規 Pedagogy コースの紹介 (日本の職業訓練システムの紹介、Pedagogy 訓練基準の紹介、訓練計画)	2	193	参加者：TVTC の指導員

日本人長期専門家による評価によれば、この成果に関する「カウンターパートの理解度」は平均し

て85%以上となっている。

(両部門共通)

日本人専門家による、この成果に関係した技術移転は成功裏に行われており、本終了時評価の際に実施したカウンターパートへのアンケート結果を見ても、彼らの大部分が所属する部門における主要な技術において自信をもっているのがわかった。

3 - 4 目標の達成度

「ITCにおいて、職業訓練のための視聴覚教材制作技術及び指導技法の水準が向上する。」

2003年9月～2004年10月までに以下に示すように、10分野における17本のビデオ教材が作成された。

番号	訓練分野／コース	制作完成日	配布日
1	自動車整備 (1)	2003年10月29日	2003年12月29日
2	電子 (1)	2004年4月17日	2004年5月11日
3	電子 (2)	2004年6月29日	2004年8月12日
4	CNC (1)	2004年2月17日	2004年2月27日
5	CNC (2)	2004年4月25日	2004年8月12日
6	工業電機 (1)	2004年6月22日	2004年8月12日
7	IT (1)	2004年6月30日	2004年8月12日
8	アーク溶接 (2)	2004年7月7日	2004年10月5日
9	アーク溶接 (1)	2003年9月17日	2003年12月29日
10	自動車整備 (2)	2004年7月12日	2004年10月5日
11	溶接試験 (1)	2004年8月31日	2004年10月5日
12	電子油圧・空気圧 (1)	2004年10月24日	2004年11月6日
13	IT (2)	2004年9月26日	-
14	工業電機 (2)	2004年10月27日	-
15	電子油圧・空気圧 (2)	2004年9月27日	-
16	自動車電機 (2)	2004年10月30日	-
17	視聴覚教材 (2)	2004年10月19日	-

注) (1) ワークショップ形式、(2) スタジオ形式

現地踏査を行ったアラック、サーヴェ及びカラジにおける TVTC の指導員及び訓練生によれば、本プロジェクトが作成・配布したビデオ教材の質に関する評価は総じて高い。ただ、一部には、様々な要望（時間が短い、基礎的すぎる、スタンダードに合っていない等）も寄せられている。

指導技法コース受講生の理解度の指標として挙げられている「終了試験合格率が9割になる」では、以下のような結果となっている。

2002年におけるPG資格未取得者コースやパブリックサービス コースの合格率はそれぞれ62%と50%だったが、2003年にはそれぞれ81%と79%に、また、2003年の職種転換コースや2004年のパブリックサービス コースではそれぞれ100%となっており、ほぼ目標が達成されているのがわかる。

なお、新規に雇用された指導員に対する指導技法コースは、プロジェクト開始以降、本評価調査時

点に至る期間内には、まだ実施されていない。

訓練コース	2002年 ベースライン	2003年	2004年
PG 資格未取得者コース	62%	81%	-
職種転換コース	-	100%	-
小計	62%	91%	-
パブリックサービス コース	50%	79%	100%

3 - 5 上位目標の達成見込み

「職業訓練センター（Technical and Vocational Training Center : TVTC）において質の高い職業訓練が行われる。」

現時点で上位目標の達成度について評価するのは時期尚早であるが、本プロジェクトが制作・配布したビデオ教材の数が少しずつではあるが着実に増加して、TVTC で活用されていること、また、ビデオ教材制作及び指導技法の訓練コースが開催されて、その参加者が着実に増加している事実から、上位目標達成に向かって進んでいる過程にあると勘案される。

3 - 6 分野毎の総合的考察

3 - 6 - 1 視聴覚教材作成

投入、活動が概ね計画通り行われ、ビデオ作成本数等の若干の計画変更はあったものの、ビデオ機材保守・管理、ビデオ制作及びビデオ制作訓練コース開発・運営について、ほぼ期待通りの成果が生み出された。プロジェクト終了までに、残された 11 本のビデオを完成させることが課題である。これまで、ビデオ教材の開発・制作の経験が全くないカウンターパートが、自力でビデオ制作機材の操作・保守管理を行い、ビデオを制作し、制作について訓練を実施できるようになったことは、プロジェクトの成果として評価されるべきことである。制作されたビデオも、多少改善の指摘はあったものの、概ね TVTC 指導員の評判も良好である。また、ビデオ制作を通じて、他部門との連携が強化されたことも成果の一つと判断される。

他方、一部で、ビデオ制作に際して、時間的な関係から、ITC 指導員の協力が得られず、制作が円滑に進まなかったことがあった。また、ビデオ教材は最終的には訓練現場で使用されるため、直接訓練生の指導に当たる現場の指導員をビデオ制作に関与させるべきとともに、実際に訓練に使用されている機材を用いた内容であるべきとの意見もあった。今後は、ビデオ制作そのもののみならず、ビデオの企画・制作・評価体制の確立に努力すべきで、TVTO 本部、支局、TVTC、ITC 内の他部門、TVTC 指導員を含む体制作りが望まれる。

全国の TVTC にビデオ教材を配布する際、アンケート調査を実施することは、評価でき、今後も継続すべきである。ただし、アンケート調査の内容・方法については、改善の余地がある。また、TVTC 現場のパソコンの普及に伴い、ビデオ以外のメディアによる配布も検討すべきである。更には、視聴覚教材の複製・配布がシステムティックに行われるよう、体制の整備が望まれる。

プロジェクト開始以降、これまで、日常的な保守管理については、技術移転が行われており、また、現在のところビデオ教材制作機器に大きな問題は生じていない。しかしながら、通常、使用後 3 年程

度で広範な保守点検が必要であり、そのための技術移転を行う短期専門家の派遣が必要と思われる。

3-6-2 指導技法

プロジェクト開始後、養成・向上訓練、セミナー等、外部条件が整い、実施可能なものは実施している。指導技法に係る訓練コース開発・運営について、カウンターパートは一定レベルの技術・知識を習得したといえる。指導技法のセミナー参加者からの評判も良い。

しかしながら、指導員の採用は、MPO（企画庁）の許可が必要なため、指導員の新規採用が遅れている。イラン側によれば、本年12月末には1,434人が採用され、このうちの三分の二が新規指導員として採用される予定とのことであり、来年5月末までに4～5回程度の訓練コースを実施することを見込んではいらる。今後、実施される指導員養成訓練等の推進・改善について、助言、モニターのため、専門家のプロジェクト終了後の継続派遣が望まれる。

3-6-3 その他

イラン側投入は、カウンターパート配置、施設改修、プロジェクトに必要なスペース提供、カウンターパート予算確保等ほぼ計画通り行われたものの、スタジオ等の空調設備整備が遅れたが、プロジェクト進行に若干の影響を与えた。また、専門家の通勤のため、車両及び運転手が提供された。専門家によると、ITC側からは常々、予算面等でプロジェクトを最優先に配慮したいとのコメントがあったとの由。指導技法部門のカウンターパートは、当初配属された6名のうち、1名はカラジのTVTO支部の次長として異動、1名は大学院に進むためTVTO本部に異動したが、それらの補充はすぐなされた。AV部門のカウンターパート2名は、プロジェクト開始後約半年遅れて配置された。

イラン側は、当初2年間、TVTOのOBであるコンサルタントを配置し、プロジェクトに関しイラン側に対する助言や専門家チームとの連絡・調整役に当たらせた。当コンサルタントは、TVTC・ITCの所長経験者で、英語が堪能であるとともに、60～70年代に日本がカラジで行った職業訓練分野の協力に、指導員及び所長として携わったことがあり、ITC、TVTCやTVTO内部組織に顔が利くと同時に、日本のプロジェクトに対する理解も深く、プロジェクト運営を円滑なものに導いたと思われる。

日本側の投入については、初年度、機材供与が日本側手続きの事情により、数か月遅れた他は、専門家派遣、機材供与、カウンターパート研修等ほぼ計画通り実施された。

本プロジェクトは、協力期間が3年間と短い中で、ビデオ制作機器保守管理、ビデオ制作及びビデオ制作・指導技法に係る指導員訓練コースの開発・実施に関する技術移転が求められており、初年度より投入が計画通り実施されないと、期間内に期待される成果が得られなくなる恐れがあった。本プロジェクトのビデオ制作の遅れは、初年度の機材の遅れに基づくものではないが、今後とも、協力期間が比較的短期のプロジェクトにおいては、特に綿密な計画に基づく投入計画の策定とその厳格な実施が求められる。

なお、日本側は、プロジェクトが開始される約5か月前から、先発として1名の専門家を派遣した。プロジェクト開始までに必要な現地での準備、イラン側との連絡調整等を行い、プロジェクトの順調な開始に貢献したと思われる。また、プロジェクト開始前に当時の所長に対し、我が国の職業訓練の現状等に関し本邦研修を行った。本研修もプロジェクトの理解と推進に大いに寄与したと思われる。

ITCでは、プロジェクト開始後、所長、訓練部長、総務部長が3代変わるなど、幹部が頻繁に異動した。今後、特にプロジェクト終了後、TVTO、ITC幹部の視聴覚教材、指導技法部門への積極的関与が望まれる。

ITC (TVTO、TVTC も含め) では、指導員の労働条件は低く、カウンターパートの処遇改善のため、インカムジェネレーション活動の可能性を探ることも一案かと思われる。

第4章 評価結果

4-1 評価5項目による評価

4-1-1 妥当性

イラン政府は、第3次国家開発計画（2000-2004）において職業訓練や人材育成を優先課題に掲げており、また、現在策定中の第4次国家開発計画（2005-2009）においても、質の高い、ニーズに適合した職業訓練を実施することが謳われ、TVTOやITCの果たすべき機能や役割が明示されている。

本プロジェクトにおいて、イラン国内で唯一の指導員養成機関であるITCをカウンターパートとして選定したことは、視聴覚教材及び指導技法を効率的に普及する観点からも妥当であった。また、TVTCには、本プロジェクトで開発した視聴覚教材や指導技法に対する十分な需要があった。

プロジェクトドキュメントで記述された目標となる指導員訓練数は、TVTOが単独で指導員を採用できずに、MPOやその他の省庁も関与することを勘案すると、多少過大であったと考えられる。

1999年に実施された日本・イランの政策協議では、イランに対する日本の援助施策の中で職業訓練の改善に重点が置かれている。また、国際協力機構による国別援助指針（2004年6月改訂）においても同様の内容が示されている。

以上から、プロジェクト目標及び上位目標の観点から見て、当プロジェクトは、イラン及び日本の政策に一致し、その計画が妥当なものであったと評価できる。

4-1-2 有効性

三つの成果の有効性は十分高いことが確認された。また、成果がプロジェクト目標の達成に結びついていることも確認された。その結果、プロジェクト目標はほぼ達成されたと評価した。様々な訓練コースの実施やそれに対する参加者からの総じて高い評価がそれを裏付けている。

終了時評価までに10分野の、17本のビデオ教材が完成し、残された協力期間内に、あと11のビデオ教材が制作・配布される予定である。評価時点までに作成されたビデオ教材に対するTVTCの指導員や訓練生の評価は総じて高い。ビデオ教材制作の訓練コース（向上訓練）は2004年の8月～9月及び11月から12月にかけて2度実施され、さらに、もう1回実施される予定である。

TVTCの指導員によれば、本プロジェクトで実施された指導技法の訓練コースあるいはセミナーへの評価は高く、彼らの一部はその内容を直ぐに自分たちの講義に取り入れている。

2002年以降に実施された指導技法の訓練コースは指導員養成訓練が19回、向上訓練が2回、セミナーコースが4回となっている。総参加者数（実績）は1,135人であるが、プロジェクトの成果を反映する実績としては、2年目以降の804人である。残された協力期間内に新規に雇用された指導員向けの訓練が数回実施される予定である。

視聴覚及び指導技法の両部門ともに、ニーズ調査及び評価活動を実施しており、TVTC指導員に対するインタビューによれば、これらの調査等を通じて彼らのニーズが十分反映されている。

日本人長期専門家の評価、短期専門家によるテスト結果あるいはカウンターパートの自己評価によれば、カウンターパートの視聴覚教材制作及び指導技法の能力は格段に向上している。

4-1-3 効率性

日本側の人的な投入は、ほぼ適切な時期に妥当な人数で実施されており、PDMに沿った活動を効

率よく展開した。

日本から供与された機材の多くは、適切な時期に計画通り ITC に設置された。

日本における研修については、満足していると答えたカウンターパートが大部分であったが、一部で期間が短すぎたとの回答もあった。

一方、イラン側の投入は、2名のカウンターパートの配置が約6か月遅れたものの、それ以外は R/D に沿ってほぼ適切に実施され、視聴覚部門で8名、指導技法部門で6名のカウンターパートが最終的にアサインされた。また、プロジェクト開始後、2名のカウンターパートが異動したが、総じて異動は少なく技術移転の効率性を高めるのに貢献した。

また、イラン側は相応のローカルコストを負担した。その金額はイラン歴1383年度の10月までに約52億リアル（約607千米ドル）に達している。

合同調整委員会（JCC）及び運営委員会（SC）は、プロジェクトの進捗及び達成状況をモニタリングするために実施され、有効に機能している。

4-1-4 インパクト

本プロジェクトが制作・配布したビデオ教材の数が少しずつではあるが着実に増加して、TVTCで活用されていること、また、ビデオ教材制作及び指導技法の訓練コースが開催されて、その参加者が着実に増加している事実から、上位目標達成に向かって進んでいる過程にあると勘案される。

ビデオ制作時のシナリオ作成の依頼、あるいは指導技法の訓練コース参加を通じて、本プロジェクトは、視聴覚及び指導技法部門以外の ITC の他の部門のインストラクターを巻き込み、彼らの意識にも大きな影響を与えた。

また、本プロジェクトは民間企業に対する支援を直接的に行っているわけではないが、ニーズ調査や評価活動を通じて、各地の TVTC の指導員に対して、民間企業との連携強化を促すことになった。

アラク、サーヴェあるいはカラジにおける現地踏査を通じて、TVTC の指導員がビデオ教材に大きな関心を寄せ、職業訓練における有効なツールであると認識していることが確認できた。また、彼らは、より早く、より多くのビデオ教材の制作・普及を要望した。

4-1-5 自立発展性

現在策定中の第4次開発計画（2005-2009）では、社会や民間のニーズに沿った職業訓練が一層求められ、TVTO や ITC の機能強化も謳われていて、政府からの制度的支援や国家予算の配分は、引き続き確保されるものと考えられる。

プロジェクト開始後、ITC の所長は2度替わったものの、総じて、ITC の管理運営能力は高いと考えられる。

技術移転はプロジェクト開始以降、日本人専門家によって成功裏に実施されている。カウンターパートの基礎的能力及び潜在力（素質）は全体的に高く、既に相応の能力を身につけていて、自立発展も可能であると結論づけられる。これは、本終了時評価で実施したインタビューやアンケートの結果、日本人専門家の評価や試験結果あるいはカウンターパートの自己評価からも裏付けられる。

しかしながら、今後とも、TVTC や民間部門のニーズを踏まえた、技術や理論の変革に応じたレベル向上への努力が必要である。また、ビデオ関連機材に対する日常の保守管理は特に問題ないが、今後、発生する定期点検あるいは予期せぬ故障等への対応能力は現時点では十分とは言えない。

4 - 2 結論

前述の調査結果から、相応のフォローアップの必要性はあるものの、2005年5月末までにプロジェクト目標は計画通り達成されたとの結論に達した。

プロジェクト終了後の自立発展のためには、今後TVTCのニーズに合致した視聴覚教材を製作し、作成された教材の普及を確実に実施していく体制の整備が不可欠である。開発が完了し、コース実施・運営が起動に乗りつつある指導技法の訓練コースにおいては、新規採用指導員を始めとして各訓練の計画的実施の促進と、訓練コースの評価・改善に取り組んでいくことが求められる。

第5章 提言と教訓

5 - 1 提言

以上のプロジェクトの実績及び評価5項目による評価結果を踏まえ、プロジェクトの残りの期間、及びプロジェクト期間終了後の方向性に関し、以下の点をイラン側と協議し、今回の評価調査の提言として確認した。

5 - 1 - 1 視聴覚教材作成のためのワーキンググループの設置

より効果的な視聴覚教材の作成のため、TVTO 研究部門、ITC マネージメントサイド及び AV 部門指導員から構成されるワーキンググループを、プロジェクト終了までに設置することが必要と判断される。右ワーキンググループは教材作成計画、教材制作、教材の評価に関する責任を有するものとする。さらに、より現場レベルのニーズに即した教材にしていくため、各 TVTC の訓練現場でのビデオ制作や、教材のユーザーである TVTC 教官からのニーズ調査等も、ワーキンググループのトピックとする。

上記の点は TVTO 研究開発部からも、視聴覚教材の質を研究開発部の基準に合致したものにするため、TVTO と ITC のさらなる連携強化の必要性が指摘された。さらに実際にビデオ教材を訓練コースで使用する側である TVTC 側からは、もっと TVTC を関与させて現場ニーズ、産業ニーズを反映したビデオ制作を行うべきとの意見があったことから、これらについてもワーキンググループで議論を行う旨、提言とした。

5 - 1 - 2 視聴覚教材の効果的な普及

TVTO は ITC で作成された視聴覚教材の効果的な普及のため、必要な措置を講じることが必要である。また普及のための手段として、VHS ビデオに加えてビデオ CD も普及のための媒体として考慮するべき。

現在のところ、ITC は作成したビデオを、質問票を添付して全国 29 か所ある TVTO 地方支局に送付し、TVTO 地方支局が、そのビデオをダビングし、傘下の TVTC に配布することとなっており、末端の TVTC までビデオを普及させることは、TVTO 側の責任事項となっている。質問票の回答は集まりつつあるが、全国約 550 か所ある TVTC 全てに普及しているかどうかのモニタリング体制は確立していない。調査団は右にかかる必要な措置を講じるよう TVTO 側に申し入れを行った。一方、TVTO 及び訪問した TVTC カラジ等からは、普及媒体として、パソコンで見ることができるビデオ CD を検討願いたいとの意見が出され、右について記述した。なお、ITC の AV 部門は、デジタルビデオテープからビデオ CD に記録することができるパソコンを 3 台購入したので、今後ビデオ CD での配布は可能になる状況にある。

5 - 1 - 3 訓練コースのシステムティックな実施

現在進捗中の新規採用の指導員候補者の訓練、及び指導員の向上訓練については、適切なタイミングで計画的に実施するよう申し入れた。なお、プロジェクトが終了するまでに右計画を策定するよう強く申し入れた。

訓練コースとしては、向上訓練やセミナー、ワークショップ等をプロジェクトの下で実施してきた

ものの、新規採用の指導員訓練コースについては、イラン政府計画局での採用手続きの遅れのため、実施できていない状況にある。TVTOの説明によれば、約1,400人の採用枠は確保され、うち500人は選考済み、そのうちの170名程度が指導員候補者となる予定である。プロジェクト開始時に想定していた新規指導員候補者を対象とした訓練コースの実施のために、計画局との調整やTVTO内の事務手続きを早急に進めるよう、労働社会福祉省、TVTO及びITCに申し入れた。なおITC側は、訓練コースを開始するための準備は整っており、5月までに1,000名の訓練は実施したいとしている。

5 - 1 - 4 日本人専門家による約1年間のフォローアップ

視聴覚教材及び指導技法分野の訓練コースのさらなる質の向上、及び右普及にかかる指導を行うため、日本人専門家1名による1年程度のフォローアップが必要である旨確認した。

当初想定されていた新規採用の指導員候補者の訓練コースの実施が今後本格化すること、また、作成された視聴覚教材が末端のTVTCまでの普及することを確認していく必要がある。これまでのプロジェクトの成果の持続性をより確実なものにしていくため、残り半年間で必要な活動を行っていくとともに、約1年間のフォローアップを検討すべきとの判断に至り、右を提案事項とした。

5 - 1 - 5 機材維持管理指導のための短期専門家の派遣

視聴覚機材の定期点検をITCが独自で行うことができるよう、短期専門家1名をフォローアップ期間中に派遣することが必要である旨確認した。

カウンターパートの本邦研修や短期専門家の派遣を通じた技術移転により、日常的な、機材の点検整備は独自で可能となっている。当初計画では、定期点検は在イランのソニー特約店に依頼するとの予定であったが、技術的信頼性、費用が高額に及ぶことから、ITCとしては、定期点検もITC内で実施したい考えである。カウンターパートの技術的には、定期点検への対応も概ね問題ない状況になっている。機材納入から3年を迎えるタイミングにおいては、最初の定期点検を必要とする機材も出てくることを見込まれるため、そのタイミングで短期専門家の指導の下、ITC独自で定期点検を実施することが、今後の自立発展性の点から有効であるとの判断に至り、右を提案事項として確認した。

5 - 1 - 6 民間訓練機関との関係の強化

民間訓練機関に対しても、ITCによる視聴覚教材や指導技法の提供を行い、関係を強化していくべきと提言を行った。

現在、イランには約550のTVTC(国営)に加え、約15,000の民間の訓練施設が存在する。TVTOとしては、民間訓練機関への支援を強化する方向性にあり、視聴覚教材をITCで大量に複製して民間訓練機関にも配布したい意向を有している。日本側としてもITCでのプロジェクトの成果が広く活用され、また民間訓練機関のニーズも反映した訓練がITCで行われることが望ましいとの考えから、民間訓練機関との関係強化について提言に盛り込むこととした。

5 - 1 - 7 イラン側の予算措置

プロジェクトのオーナーシップの強化、持続性を担保するため、必要な予算配置を図るよう調査団側からTVTOに対して強く申し入れを行い、右を提言とした。

5 - 1 - 8 関係者のプロジェクトへの積極的関与

ITC 及び TVTO のマネジメントサイドの、プロジェクトへの積極的関与・支援について、特にプロジェクト期間終了後の持続性の観点から、強く申し入れを行った。

プロジェクトの課題である新規指導員候補者に対する訓練コースの実施や、視聴覚教材の末端までの配布については、上部機関である TVTO や労働社会福祉省による対応が不可欠であり、右を提言とした。

5 - 2 教訓

本件プロジェクトから抽出された、他の案件にも適用し得る教訓に関し、以下の2点について双方で確認した。

- ① 視聴覚教材は、訓練効果を高めるためには最も適した教材であること、複製が容易であり広範囲に普及できること、といった特性から、量的拡大を支えるツールとして効率的であったといえる。国内の地方にいたる波及効果や近い言語の近隣諸国での活用にも貢献し得る媒体であったといえる。
- ② 3年間のプロジェクトの場合、短期間で成果を出す必要があり、投入のタイミングが極めて重要。プロジェクト開始前に、機材、人員、予算等の配備等にかかる準備が完了している必要がある。本件プロジェクトの場合、機材の調達約3ヶ月の遅れ、指導員候補生の採用の遅れ等がプロジェクトの活動に若干の影響を及ぼしたといえる。

5 - 3 その他

イラン側より、日本側による今後の継続的支援について強い要請があり、右をミニッツ上記載した。

TVTO 及び ITC からは、供与機材の老朽化、技術面での更新等の面で、プロジェクト終了後も継続的に支援願いたい旨の意向が表明された。また ITC からは他の近隣諸国における類似プロジェクトとの技術交換も有効である旨の提案があった。

これらの要望・提案に対し、調査団からは、現時点ではプロジェクト目標を達成することが最重要であり、右に集中すべきである旨伝え、先方の意向のみをミニッツに記載した。

付属資料

1. ミニッツ（英文）
2. PDM(和文)
3. 評価グリッド
4. 専門家派遣実績
5. カウンターパートリスト
6. 研修員受入実績
7. 供与機材実績
8. ニーズ調査及び評価活動実績
9. 視聴覚教材制作作業計画
10. 視聴覚教材制作実績総表
11. マニュアルリストについて（説明）
12. マニュアルリスト
13. カウンターパートに対する保守管理に係る訓練記録
14. 指導員訓練分野実績総表
15. 指導員訓練分野活動項目別実績
16. 機材管理担当者リスト
17. カウンターパートによる保守管理作業記録
18. カウンターパートアンケート結果
19. 実績グリッド（和文）

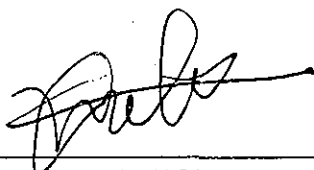
**MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
THE JAPANESE FINAL EVALUATION TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE ISLAMIC REPUBLIC OF IRAN
ON
THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE PROJECT ON THE IMPROVEMENT OF AUDIO-VISUAL AIDS
AND INSTRUCTION METHODS IN VOCATIONAL TRAINING
AT THE INSTRUCTOR TRAINING CENTER**

The Japanese Final Evaluation Team (hereinafter referred to as “the Team”) organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”), headed by Mr. Motoharu WATANABE visited the Islamic Republic of Iran from December 4 to December 13, 2004, for the purpose of the final evaluation of the Project on the Improvement of Audio-Visual Aids and Instruction Methods in Vocational Training at the Instructor Training Center (hereinafter referred to as “the Project”).

During its stay in the Islamic Republic of Iran, the Team had a series of discussions with the Iranian authorities concerned, jointly evaluated the achievement of the Project, and exchanged views of the Project.

As a result of the study and discussions, both sides agreed to report to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Tehran, December 12, 2004



Mr. Motoharu WATANABE
Leader,
Japanese Final Evaluation Team,
Japan International Cooperation Agency,
Japan



Mr. Rahmatollah RAHMATI
Vice President,
Technical & Vocational Training Organization,
The Islamic Republic of Iran

CONTENTS

- 1. Introduction**
 - 1.1. Background**
 - 1.2 Objectives of Evaluation**
 - 1.3. Major Activities of the Team**
 - 1.4. Evaluators**
 - 1.5. Method of Evaluation**

- 2. Review of Project Design Matrix**

- 3. Project Achievement**
 - 3.1. Inputs**
 - 3.2. Outputs**
 - 3.3. Project Purpose**
 - 3.4. Overall Goal**

- 4. Evaluation by Five Criteria**
 - 4.1. Relevance**
 - 4.2. Effectiveness**
 - 4.3. Efficiency**
 - 4.4. Impact**
 - 4.5. Sustainability**

- 5. Conclusion of the Evaluation**

- 6. Recommendations**

- 7. Lesson Learnt**

- 8. Others**

ANNEXES

- Annex 1. Project Design Matrix (PDM) for Final Evaluation**
- Annex 2. Achievement of the Plan**
- Annex 3. Evaluation Grid**
- Annex 4. Plan of Operation**
- Annex 5. List of Experts**
- Annex 6. List of Counterparts**
- Annex 7. List of Counterparts trained in Japan**
- Annex 8. List of Major Interviewees by the Team**
- Annex 9. List of Evaluators**



ATTACHED DOCUMENT

1. Introduction

1.1. Background

The Islamic Republic of Iran (hereinafter referred to as Iran) faces high unemployment rate due to a large number of young population. Third National Development Plan (2000 - 2004) has set up important targets for improvement of employment by various measures as well as provision of technical skills to the unemployed, job seekers and unskilled workers through vocational training, which are necessary for national development. The vocational training system with high technological level, however, has not been established yet at about 450 Technical and Vocational Training Centers in the whole country.

Under such conditions, the Government of Iran made plans to improve the quality of vocational training through the production of audio-visual aids and the improvement of instruction methods and requested project type technical cooperation at the Instructor Training Center from the Government of Japan

In response to the request by the Government of Iran, the Government of Japan has decided to implement the Project. The Record of Discussions (hereinafter referred to as "the R/D") was signed on January 20, 2002. The duration of the Project is three years from June 1, 2002.

This time, with remaining period of approximate 6 months, the Team was dispatched by JICA for the purpose of evaluating the achievements of the Project.

1.2. Objective of Evaluation

- 1) To grasp the inputs of Iranian / Japanese sides and summarize the achievements of the Implementation Plan of the Project.
- 2) To execute a comprehensive evaluation on the achievement of the Project from the viewpoint of five components of evaluation (explained later in this document).
- 3) To make recommendations on the future perspective of the Project and to lead lessons learned from the Project to technical cooperation in the same field through data obtained by the evaluation process.

1.3. Major Activities of the Team

Date	Major Activities
December 4 Saturday	Arrival in Tehran Meeting with Japanese experts
5 Sunday	Courtesy visits to Embassy of Japan Discussion with staff of Technical & Vocational Training Organization (TVTO)
6 Monday	Courtesy visits to the President of TVTO Discussion with staff of TVTO on draft minutes of meetings
7 Tuesday	Visit to TVTC in Karaj Discussion and Interview with staff of ITC
8 Wednesday	Team meeting for minutes of meeting
9 Thursday	Reviewing study results
10 Friday	Preparation of draft minutes of meetings
11 Saturday	Visit to TVTC in Karaj Discussion with staff and counterparts of ITC
12 Sunday	JCC meeting Signing of the minutes of meetings Reports to Embassy of Japan
13 Monday	Leaving Tehran

1.4. Evaluators

The final evaluation was jointly carried out by the both Japanese and Iranian evaluators. The result was approved by JCC held on December 12, 2004. List of evaluators was shown in Appendix 9.

1.5. Method of Evaluation

The original Project Design Matrix (PDM) jointly approved on January 20, 2002, is a guideline of the evaluation together with the plan of operation presented in the R/D of the Project. Achievement of the Project has been evaluated by the following five criteria through discussions among the both sides.

a. Relevance

Relevance of the Project plan is reviewed by the validity of the Project purpose and the overall goal in connection with the development policy of the Government of Iran and needs of the beneficiaries and also logical consistency of the Project plan.

b. Effectiveness

Effectiveness is assessed by evaluating to what extent the Project has achieved its purpose and clarifying the relationship between the purpose and outputs.

c. Efficiency

Efficiency of the Project implementation is analyzed with emphasis on the relationships between outputs and inputs in terms of timing, quality and quantity.

d. Impact

Impacts of the Project are assessed by either positive or negative influences caused by the Project.

e. Sustainability

Sustainability of the Project is assessed in organizational, financial and technical aspects by examining the extent to which the achievement of the Project will be sustained and expanded after the Project's completion.

2. Review of Project Design Matrix

As part of the final evaluation, the Project Design Matrix (PDM) has been reviewed for better management of the Project. After discussion, the both sides agreed that modification of the PDM is needless as a result of having evaluated achievement of the Project.

The targeted degree of understanding of counterparts as indicators of the Outputs was set at 85% or more at JCC held on October 6, 2002.

3. Project Achievement

3.1. Inputs

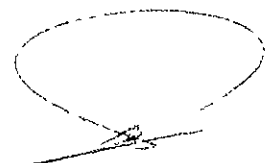
3.1.1. Inputs from Japanese side

The following inputs have been provided by JICA for the Project.

(1) Dispatch of Experts

Four (4) long term experts and six (6) short-term experts were dispatched and assigned. The subject/fields of the short-term experts are as follows:

- Operation of video production equipment
- Maintenance of video production equipment
- Video production in "Arc Welding"
- Management Training Program (MTP)
- Video production in "Electronics"
- Digital VTR & camera maintenance service



(2) Provision of Equipment

Equipment necessary for the Project such as video studio system and video editing system was installed to ITC.

(3) Local Cost Disbursement

The Japanese side has allocated and appropriated necessary budget for the activities of the Japanese experts as shown in following table.

Unit: Japanese Thousand Yen

Japanese Fiscal Year	FY2002	FY2003	FY2004 (- Sept.)
Cost for Project Implementation	7,290	6,151	2,000

(4) Counterpart Training in Japan

Eight (8) counterparts for audio-visual aids and four (4) for instruction methods were trained in Japan.

3.1.2. Inputs from Iranian Side

The following inputs have been provided by the Iranian side.

(1) Assignment of Counterpart Personnel

Eight (8) counterparts were assigned for audio-visual aids and six (6) were for instruction methods. Also, administrative staffs were assigned.

(2) Provision of Land, Building and Facilities

The office space for the Japanese experts, rooms and space necessary for installation and storage of equipment and necessary arrangement of automobiles with drivers were provided. Also, studios were renovated.

(3) Disbursement for Running Expenses

The Iranian side has allocated and appropriated necessary budget for the Project as follows.

Unit: Million Rials

Iranian Fiscal Year	1381*	1382*	1383* (- October)
Cost for the Operation of the Project	4,040.9	692.2	429.3

*Iranian Calendar.

1381: March 20, 2002 – March 19, 2003

1382: March 20, 2003 – March 19, 2004

1383: March 20, 2004 – March 19, 2005

3.2. Outputs

The achievement of the outputs through the corresponding activities is measured by the indicators of the PDM.

Output 1. The equipment necessary for the development, production and use of audio-visual aids is introduced into the ITC; and staff of the ITC gain the ability to maintain the equipment, which allows for the continuous use of equipment.

Working plan and monitoring sheets were completed in 2002.

One (1) video equipment routine maintenance manual was produced in September 2003.

Four (4) training courses were carried out for C/Ps on maintenance by the short-term experts and the experts from the National TV of Iran in 2003-2004.

One counterpart in each department was assigned as the person in charge of the routine maintenance activities. The record of maintenance was completed.

Based on the evaluation by the Japanese long-term expert, results of the test by the short-term experts and the self-evaluation by C/Ps, the degree of understanding amounted to more than 85%.

Technology transfer from the Japanese experts was regarded as satisfactory. Based on the questionnaire to C/Ps for the Final Evaluation, most of them are confident in the major subjects.

Output 2. The ITC gains the ability to develop and produce video aids using the adequate video equipment.

Three (3) surveys on need assessment and evaluation were conducted in 2002-2004.

Annual plan, monthly plan and weekly plan were completed in 2002.

34 manuals (10 for video aids production and 24 for operation of equipment) were produced.

Five (5) training courses were carried out for C/Ps on video technique, operation of equipment, scenario writing, lighting and audio mixer by the long-term expert, the short-term experts and the experts for the National TV of Iran.

17 video aids for 10 training courses were produced between September 2003 and October 2004. They are Auto-mechanics, Electronics, CNC, Industrial Electricity, IT, Arc Welding, Welding Test, Electro Hydraulic and Pneumatic, Motor vehicle Electricity and Audio Visual. The qualities of them are appreciated by instructors of TVTCs as a whole.

Based on the evaluation by the Japanese long-term expert, results of the test by the short-term experts and the self-evaluation by C/Ps, the degree of understanding amounted to more than 85%.

Technology transfer from the Japanese experts was regarded as satisfactory. Based on the questionnaire to C/Ps for the Final Evaluation, most of them are confident in the major skills.

Output 3. The ITC gains the capacity to manage the instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods.

(Audio-visual aids)

Three (3) surveys on needs assessment and evaluation were conducted in 2002-2004.

Annual plan, monthly plan and weekly plan were completed in November 2003.

Curricula for video production course on basic knowledge, scenario writing, shooting, lighting, editing, presentation and evaluation were developed in May 2004.

Five (5) manuals for training courses on basic knowledge, scenario writing, shooting, lighting and editing were developed in May 2004.

Three (3) training materials were developed in 2004.

Video aids production training course for upgrading training was developed and held in August-September, 2004. The same course was conducted in November-December, 2004 and will be

conducted in March 2005. Total number of participants so far amounted to 13.

Based on the evaluation by the Japanese long-term experts, the degree of understanding amounted to more than 85%.

(Instruction methods)

Four (4) surveys on needs assessment for Pedagogy were conducted. Survey on need assessment for TWI training and for MTP training was conducted each. Also, surveys on evaluation for training courses were conducted every time.

Annual plan, monthly plan and weekly plan were completed in 2002 and reviewed in 2003-2004.

Curricula for training courses for newly employed instructors, upgrading training courses (course plan, instruction methods, instruction technology, and course evaluation) and training courses for management staff were developed in 2002-2003.

Five (5) manuals for training courses for newly employed instructors were developed in 2002-2003. Also, Four (4) manuals were developed for upgrading training courses.

Two (2) training materials (first and second versions) were developed for newly employed instructors and four (4) were developed for upgrading training courses in 2003-2004.

19 training courses for instructors (newly employed instructors, instructors who want to change the area and personnel in public services) and two (2) upgrading courses and four (4) seminars for Pedagogy were conducted in 2002-2004. Total number of participants amounted to 1135, of which 804 were directly derived from the outcome of the Project.

Based on the evaluation by the Japanese long-term experts, the degree of understanding amounted to more than 85%.

(Audio-visual aids and instruction methods)

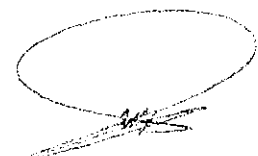
Technology transfer from the Japanese experts was regarded as satisfactory. Based on the questionnaire to C/Ps for the Final Evaluation, most of them are confident in the major skills.

3.3. Project Purpose

Standards of the ITC are improved in terms of production of audio-visual aids and instructions methods.

17 video aids for 10 training courses were produced in September 2003 - October 2004. Details are shown below:

No.	Training course	Date of production	Date of dissemination
1	Auto mechanics (1)	29/Oct./2003	29/Dec./2003
2	Electronics (1)	17/April/2004	11/May/2004
3	Electronics (2)	29/June/2004	12/Aug./2004
4	CNC (1)	17/Feb./2004	27/Feb./2004
5	CNC (2)	25/April/2004	12/Aug./2004
6	Industrial electricity (1)	22/June/2004	12/Aug./2004
7	IT (1): hardware of PCs	30/June/2004	12/Aug./2004
8	Arc Welding (2)	7/July/2004	5/Oct./2004
9	Arc Welding (1)	17/Sept./2003	29/Dec./2003
10	Auto machines (2)	12/July/2004	5/Oct./2004
11	Welding Test (1)	31/Aug./2004	5/Oct./2004



12	Electro Hydraulic & Pneumatic (1)	24/Oct /2004	6/Nov./2004
13	IT (2)	26/Sept /2004	-
14	Industrial electricity (2)	27/Oct./2004	-
15	Electro Hydraulic & Pneumatic (2)	27/Sept /2004	-
16	Motor vehicle electricity (2)	30/Oct /2004	-
17	Audio visual (2)	19/Oct /2004	-

* (1) Workshop-type, (2) Studio-type

According to the survey in Arak, Saveh and Karaj, the contents and quality of them were highly evaluated by instructors and trainees of TVTCs as a whole, although some comments or requests for improvement were received.

Before the Project, examination passing ratios for new instructors and personnel in public services were 62% and 50% in 2002, respectively. After the Project, these ratios for new instructors and personnel in public services increased to 91 % and 79% in 2003, respectively. Also, the ratio for personnel in public services increased to 100% in 2004. The details are shown below

Training courses	2002 (baseline)	2003	2004
New instructors	62%	81%	-
New instructors who want to change the area	-	100%	-
Total	62%	91%	-
Personnel in public service	50%	79%	100%

3.4. Overall Goal

High quality training are conducted at Technical and Vocational Training Centers (TVTCs).

It is too early to measure. However, the Project is thought to be in a direction toward the overall goal because video aids produced at ITC have been sent to the branch offices of TVTO for utilization at TVTCs in the whole country since December 2003 and the number of instructors who participated in the training courses for video aids production and instruction methods at ITC has steadily increased.

4. Evaluation by Five Criteria

4.1. Relevance

The Iranian Government has put high priority on vocational training and human resources development in the Third National Development Plan (2000-2004) Also, the roles and functions for TVTO and ITC will be enhanced in the Fourth National Development Plan (2005-2009), which is under preparation.

It was appropriate for the Project implementation to select ITC as the counterpart, since it was the only institution that can conduct training for instructors in Iran and carried out the Project most effectively in terms of dissemination of audio-visual aids and instruction methods.

There were sufficient needs for the Project on audio video aids and instruction methods in TVTCs.

The number of new instructor trained, which was targeted in the Project Document, was rather large considering that the recruitment of instructors was not only in hands of TVTO but Management and

Planning Organization (MPO) and other agencies.

One of the priorities of the Japanese official development assistance to Iran is set on improvement of vocational training through the Japan - Iran bilateral aid policy consultations in 1999.

4.2. Effectiveness

Effectiveness of three (3) outputs was found satisfactory. The achievement of each output has been smoothly converted to the achievement of the Project Purpose. The Project Purpose was mostly achieved.

17 video aids for 10 training courses were completed. Within the remaining period, 11 video aids will be completed and disseminated. According to the interview with instructors of TVTCs, the quality of the audio-visual aids produced at ITC is high. Video aids production training course for upgrading training was developed and held in August-September, 2004. The same course was conducted in November-December, 2004.

According to the interview with instructors of TVTCs, they were satisfied with the training courses and seminars on instruction methods at ITC and the outcome was applied to actual training courses by them.

19 training courses for instructors (newly employed instructors, instructors who want to change the position and personnel in public services) and two (2) upgrading courses and four (4) seminars for Pedagogy were conducted in 2002-2004. Total number of participants amounted to 1135, of which 804 were directly derived from the outcome of the Project. Within the remaining period, several training courses for newly employed instructors will be conducted.

Several surveys on need assessment and evaluation were conducted at AV and PG departments. According to the interview with instructors of TVTCs, the audio-visual aids produced and instruction methods developed meet the needs of them as a whole.

Based on the evaluation by the Japanese long-term experts, results of the tests by the short-term experts and the self-evaluation by C/Ps, the capacity of C/Ps on the development of audio-visual aids and instruction methods was improved.

4.3. Efficiency

The Japanese experts have been dispatched efficiently mostly on good timing. They have satisfactorily contributed to progress of all activities in the PDM.

Most of equipment provided by JICA was appropriate in quality with proper and on-timing installation to ITC.

Based on the interview survey, contents of the training courses in Japan were almost satisfactory although the period was rather short.

The core counterparts consist of eight (8) full-time staff for AV and six (6) for PG. Number, timing of assignment and capability of the C/Ps were almost appropriate, although assignment of two counterparts for AV was delayed for about six months. Only two counterparts were moved. The key counterparts (instructors) of ITC, who were not changed from the beginning of the Project, contributed to the achievement of the Outputs.

Iranian side shouldered a large amount of cost as the operational budget: 4,040.9 million Rials in 1381, 692.2 million Rials in 1382 and 429.3 million Rials in 1383 (-October). Some disbursements for studio building, however, were delayed.

Joint Coordinating Committee (JCC) and Steering Committee (SC) well monitored the progress and achievement of the Project.

4.4. Impact

13 video aids produced at the ITC have been sent to the branch offices of TVTO for utilization of TVTCs in the whole country since December 2003 and the number of instructors who participated in the training courses for video aids production and instruction methods at ITC has steadily increased. Although it is too early to evaluate the overall goal, the Project is thought to be in a direction toward it.

Instructors of several departments or workshops at ITC and TVTC were involved in scenario writing through the production of audio-visual aids and participated in the training course/seminar of instruction methods.

Although activities of the Project do not directly provide support or services for private sector, the Japanese experts stimulated the counterparts and instructors of TVTCs through needs survey and the course evaluation to involve private sector.

It is observed that instructors of TVTCs had a certain level of interest and recognition in audio-visual aids as an effective tool for vocational training through the field survey in Arak, Saveh and Karaj. Thus, they requested increase of production in number and speedy dissemination.

4.5. Sustainability

The roles and functions for TVTO and ITC will be clearly mentioned in the Fourth National Development Plan (2005-2009), which is under preparation.

Capability on operation and management of ITC is high as a whole, although the head of ITC was moved twice in the Project period.

TVTO would be financially sustainable by the allocation of a national budget.

In the Fourth National Development Plan, the recognition of social needs and cooperation with private sector in terms of vocational training are emphasized.

Technology transfer from the Japanese experts was regarded as satisfactory. The basic capability and potentials of C/Ps are high. Based on the questionnaire to C/Ps for the Final Evaluation, most of them are confident in the major subjects. Also, the degree of understanding amounted to more than 85% as a whole according to the evaluation by the Japanese long-term experts, short-term experts and self-evaluation by C/Ps. It is imperative for them, however, to make efforts in order to catch up the rapid technological and theoretical innovation and to meet the real needs from TVTCs and private sector.

Video equipment routine maintenance is sustainable, since the manual was produced and one counterpart in each department was assigned as the person in charge of the maintenance. As for periodical maintenance (3 years after installation in general) and response to unexpected troubles, C/Ps are not so confident according to the interview with them.

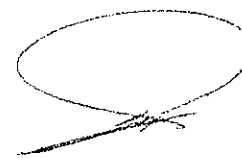
5. Conclusion of the Evaluation

The Project is proceeding smoothly and satisfactorily as a whole.

The contributions of the Japanese experts and the efforts by Iranian counterparts have been confirmed through the interviews and exchange of views.

However, the continuous efforts to supply audio-visual aids that meet the current needs of TVTCs and to conduct training courses on instruction methods in the remaining period are imperative through the technologies introduced from the Japanese experts.

Based on the result of the evaluation, the Project purpose will be achieved by May 2005 as planned, although some follow-up measures may be taken in consideration.



6. Recommendations

Based on the findings of evaluation of the Project, both parties concerned are recommended to take the following measures.

(1) Formulation of working groups for production of audio-visual aids

For effective production of audio-visual aids, it is imperative to establish the working groups, which may be comprised of staff of the Research Department of TVTO, management of ITC and instructors concerned. The working groups will be responsible for the planning, production and evaluation on a consistent basis.

On-site production of video aids and discussions with instructors on needs at TVTCs will be topics for discussions in the working groups.

It is highly expected that the working groups will be formulated within the remaining period of the Project.

(2) Effective dissemination of audio-visual aids

TVTO should take necessary measures for effective dissemination of audio-visual aids. In response to the increase of personal computers distributed in TVTCs after the commencement of the Project, Video Compact Disc could be considered as another type of information media for dissemination as well as video tape.

(3) Systematic implementation of the training courses

The training courses for newly employed instructors, who are now in the process of recruitment, and the upgrading training courses for the existing instructors should be carefully planned and systematically implemented in appropriate timing.

It is highly expected that the formulation of the plans will be completed and certain numbers of the training courses will be implemented within the remaining period of the Project.

(4) One Japanese expert for follow-up cooperation

In order to advise on improvement of the training courses in audio-visual aids and instruction methods and to monitor dissemination of the audio visual product and instruction methods, assignment of one Japanese expert for an approximate period of one year should be considered.

(5) One Japanese short-term expert for the training of periodical maintenance of audio visual equipment

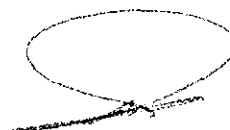
Assignment of one short-term expert for the training of periodical maintenance of audio visual equipment should be considered so that ITC can carry out periodical maintenance by themselves.

(6) Strengthening of the linkage with private training institutions

The linkage with private training institutions should be enhanced through provision of audio visual product and instruction methods, which were developed in ITC.

(7) Allocation of the Counterpart budget

From the viewpoint of ownership of the Project, it is important for the Iranian side to secure the counterpart budget for spare parts and consumables in particular.



(8) Active involvement of the management of ITC and TVTO

The management of ITC and TVTO should be actively involved in the activities of the Project for sustainable development especially after the end of the cooperation period.

7. Lesson Learnt

Audio-visual aids are suitable for increase of training efficiency and easy for duplication for distribution. Thus, they will be effective tools to support the expansion of vocational training in the whole country. It can be also applicable to the neighboring countries where similar languages are spoken.

The timing of necessary input is one of the critical factors for a three-year project to produce the expected outputs within the cooperation period. Such as procurement of equipment and recruitment of trainees were important preconditions to launch the project.

8. Others

Iranian side requested the continuous technical support from Japan for TVTO.

Annex 1 Project Design Matrix (PDM) for Final Evaluation

Project Name : The project on the improvement of audio-visual aids and instruction methods in vocational training at the Instructors Training Center
 Project Area: IRAN
 Target group : The Instructor Training Center (Audio-visual and Pedagogy Departments)

Duration of the : 3 years
 Date : 12/December/2004

*Degree of understanding of indicators of Outputs was set at 85% or more at JCC held on October 6, 2002.

NARRATIVE SUMMARY	INDICATORS	MEANS OF VERIFICATION	IMPORTANT ASSUMPTIONS
<p>OVERALL GOAL</p> <p>High quality training are conducted at Technical and Vocational Training Centers (TVTCs).</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Use of the video aid produced at the ITC (Video aids for all the courses in need of audio visual aids at all TVTCs are produced) - Production of the audio-visual aids at TVTCs (number, date, quality) - Training conducted by the instructors trained at the instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods (number, date, quality) - Video aid produced (number, date, quality) - Degree of understanding of participants of audio-visual courses (Video aids for 14 courses in total are produced) - Degree of understanding of participants of pedagogy courses (Examination pass ratio of graduation test becomes over 90%.) 	<ul style="list-style-type: none"> - Interviews with and questionnaires to the instructors and trainees at TVTCs. 	<ul style="list-style-type: none"> - The policies of the TVTO do not change. - Necessary budget is secured continuously.
<p>PROJECT PURPOSE</p> <p>Standards of the ITC are improved in terms of production of audio-visual aids and instructions methods.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Working plan (date of completion, contents) - Routine maintenance manuals produced (number, date, contents) - Training carried out (number, date, attendants) - Routine maintenance activities carried out - Degree of understanding of counterparts (C/Ps), (up to 85%) - Degree of the technology transfer - Needs assessment and evaluation activities (date of conduct, contents) - Working plan (date of production, contents) - Manuals produced (number, date, contents) - Training carried out (number, date, attendants) - Video aid produced (number, date, quality) - (Number of courses produced with video aids becomes 14 in total.) - Degree of understanding of C/Ps, (up to 85%) - Degree of the technology transfer - Needs assessment and evaluation activities (date of conduct, contents) - Working plan (date of completion, contents) - Curricula developed (number (courses), date, contents) - Training manuals developed for instructors (number (courses), date, contents) - Training materials developed (number (courses), date, contents) - Courses conducted (number, date, contents, attendants) - Degree of understanding of C/Ps, (up to 85%) - Degree of the technology transfer 	<ul style="list-style-type: none"> - Video production plan and record - Interviews with and questionnaires to the instructors, participants and Japanese experts at the ITC 	<ul style="list-style-type: none"> - The policies of the ITC do not change. - C/Ps continue to work in the audio-visual and pedagogy department. - Assistants is secured for audio-visual aid production.
<p>OUTPUTS</p> <p>The equipment necessary for the development, production and use of audio-visual aids is introduced into the ITC, and staff of the ITC gain the ability to maintain the equipment, which allows for the continuous use of equipment.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Working plan - List of manual produced - Training record - Working records - Interviews with and questionnaires to the C/Ps and Japanese experts - Assessment and evaluation reports - Working plan - List of manual produced - Training record - Working records with numbers of video aid produced - Interviews with and questionnaires to the C/Ps and Japanese experts 	<ul style="list-style-type: none"> - Assessment and evaluation reports - Working plan - List of manual produced - Training record - Working records with numbers of video aid produced - Interviews with and questionnaires to the C/Ps and Japanese experts 	
<p>2) The ITC gains the ability to develop and produce video aids using the adequate video equipment.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Needs assessment and evaluation activities (date of conduct, contents) - Working plan (date of production, contents) - Manuals produced (number, date, contents) - Training carried out (number, date, attendants) - Video aid produced (number, date, quality) - (Number of courses produced with video aids becomes 14 in total.) - Degree of understanding of C/Ps, (up to 85%) - Degree of the technology transfer - Needs assessment and evaluation activities (date of conduct, contents) - Working plan (date of completion, contents) - Curricula developed (number (courses), date, contents) - Training manuals developed for instructors (number (courses), date, contents) - Training materials developed (number (courses), date, contents) - Courses conducted (number, date, contents, attendants) - Degree of understanding of C/Ps, (up to 85%) - Degree of the technology transfer 	<ul style="list-style-type: none"> - Assessment and evaluation reports - Working plan - Curricula development record - Development reports - Working records - Interviews with and questionnaires to the C/Ps and Japanese experts 	
<p>3) The ITC gains the capacity to manage the instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods.</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Needs assessment and evaluation activities (date of conduct, contents) - Working plan (date of completion, contents) - Curricula developed (number (courses), date, contents) - Training manuals developed for instructors (number (courses), date, contents) - Training materials developed (number (courses), date, contents) - Courses conducted (number, date, contents, attendants) - Degree of understanding of C/Ps, (up to 85%) - Degree of the technology transfer 	<ul style="list-style-type: none"> - Assessment and evaluation reports - Working plan - Curricula development record - Development reports - Working records - Interviews with and questionnaires to the C/Ps and Japanese experts 	




ACTIVITIES	INPUTS	IMPORTANT ASSUMPTIONS
(1-1) Elaborating working plan for procurement and maintenance of the equipment	<u>Iranian side</u> 1. Assignment of personnels	- C/Ps continue to work in the audio-visual and pedagogy department.
(1-2) Procurement and installation of necessary equipment;	- C/Ps AV Dept: 8 PG Dept: 6	- IVTCs cooperate on needs assessment and evaluation activities/
(1-3) Production of routine maintenance manuals for the equipment;	2. Building and facilities	- Necessary measures are taken for the customs clearance and transportation of the equipment without delay
(1-4) Training on maintenance of the equipment for the staff of the audio-visual department;	3. Furniture and consumables	PRE-CONDITIONS
(1-5) Maintenance of the equipment according to the maintenance manuals;	4. Allocation of budget	- C/Ps are secured as planned.
(2-1) Conducting needs assessment and evaluation activities on production of video aids;	5. Exemption of custom duties, internal taxes, etc.	- The facilities for the Project in the ITC are provided as planned.
(2-2) Elaborating working plan for production of video aids;	6. Means of transportation for the Japanese experts	- Necessary budget is allocated.
(2-3) Designing and development of training manuals on production of video aids;	Japanese side 1. Dispatch of experts	
(2-4) Training of the staff of the audio-visual department on production of video aids;	- Long-term Chief advisor: 1 Coordinator: 1	
(2-5) Production of video aids by the staff of the audio-visual department	Production of audio-visual aids: 1 Instruction method: 1	
(3-1) Conducting needs assessment and evaluation activities for the instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods;	- Short-term 3-4 experts per year	
(3-2) Elaborating working plan for the instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods;	2. Training of C/P in Japan 2-3 C/Ps per year	
(3-3) Development of curricula for the instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods;	3. Provision of equipment for production of audio-visual aids and instruction methods	
(3-4) Development of training manuals for the staff of the audio-visual and pedagogy departments for the instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods;		
(3-5) Development of training manuals for the participants of the instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods;		
(3-6) Conducting instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods.		

Annex 2 Achievement of the Plan

The Project on the improvement of audio-visual aids and instruction methods in vocational training at the Instructors Training Center in Iran

Criteria	Evaluation Items		Confirmation Items	Results
	Major Items	Sub Items		
Achievement	<p>(Overall goal) "High quality training are conducted at Technical and Vocational Training Centers (TVTCs)."</p> <p>(Project Purpose) "Standards of the ITC are improved in terms of production of audio-visual aids and instructions methods."</p>		<ul style="list-style-type: none"> - Use of the video aids produced at the ITC - Production of the audio-visual aids at TVTCs (number, date, quality) - Training conducted by the instructors courses at the instructors' training on audio-visual aids and instruction methods (number, date, quality) - Video aid produced (number, date, quality) 	<p>It is too early to measure. However, the Project is thought to be in a direction toward the overall goal because video aids produced at the ITC have been sent to the branch offices of TVTO for utilization at TVTCs in the whole country since December 2003 and the number of instructors who participated in the training courses for video aids production and instruction methods at ITC has steadily increased.</p>
		<p>1) The equipment necessary for the development, production and use of audio-visual aids is introduced into the ITC, and staff of the ITC gain the ability to maintain the equipment, which allows for the</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Degree of understanding of participants of audio-visual courses (Video aids for 14 courses in total are produced) - Degree of understanding of participants of pedagogy courses (Examination pass ratio of graduation test becomes over 90%) - Working plan (date of completion, contents) - Routine maintenance manuals produced (number, date, contents) - Training carried out (number, date, attendants) - Routine maintenance activities carried out 	<p>17 video aids for 10 training courses were produced between September 2003 and October 2004. They are for Auto-mechanics, Electronics, CNC, Industrial Electricity, IT, Arc Welding, Welding Test, Electro Hydraulic and Pneumatic, Motor Vehicle Electricity and Audio Visual training courses. The qualities of them are appreciated by instructors of TVTCs as a whole. According to the survey in Arak, Saveh and Karaj, the contents and quality of them were highly evaluated by instructors and trainees of TVTCs as a whole, although some comments or requests for improvement were received</p> <p>Degree of understanding was high according to the interview with the participants of audio visual courses.</p> <p>Before the Project, examination passing ratios for new instructors and personnel in public services were 62% and 50% in 2002, respectively. After the Project, these ratios for new instructors and personnel in public services increased to 91 % and 79% in 2003, respectively. Also, the ratio for personnel in public services increased to 100% in 2004.</p> <p>Working plan and monitoring sheets were completed in 2002.</p> <p>One (1) video equipment routine maintenance manual was produced in September 2003.</p> <p>Four (4) training courses were carried out for C/Ps on maintenance by the short-term experts and the experts from the National TV of Iran in 2003-2004.</p> <p>One (1) counterpart in each department was assigned as the person in charge of the routine maintenance activities. The record of maintenance was completed.</p>

Criteria	Evaluation Items		Confirmation Items	Results
	Major Items	Sub Items		
		continuous use of equipment.	- Degree of understanding of counterparts (C/Ps), (up to 85%)	Based on the evaluation by the Japanese long-term expert, results of the test by the short-term experts and the self-evaluation by C/Ps, the degree of understanding amounted to more than 85%.
		2) The ITC gains the ability to develop and produce video aids using the adequate video equipment.	- Degree of the technology transfer - Needs assessment and evaluation activities (date of conduct, contents) - Working plan (date of production, contents) - Manuals produced (number, date, contents) - Training carried out (number, date, attendants) - Video aid produced (number, date, quality) (Number of courses produced with video aids becomes 14 in total.) - Degree of understanding of counterparts (C/Ps), (up to 85%) - Degree of the technology transfer	Technology transfer from the Japanese experts was regarded as satisfactory. Based on the questionnaire to C/Ps for the Final Evaluation, most of them are confident in the major skills. Three (3) surveys on need assessment and evaluation were conducted in 2002-2004. Annual plan, monthly plan and weekly plan were completed in 2002. 34 manuals (10 for video aids production and 24 for operation of equipment) were produced. Five (5) training courses were carried out for C/Ps on video technique, operation of equipment, scenario writing, lighting and audio mixer by the long-term expert, the short-term experts and the experts for the National TV of Iran. 17 video aids for 10 training courses were produced between September 2003 and October 2004. They are for Auto-mechanics, Electronics, CNC, Industrial Electricity, IT, Arc Welding, Welding Test, Electro Hydraulic and Pneumatic, Motor Vehicle Electricity and Audio Visual training courses. The qualities of them are appreciated by instructors of TVTCs as a whole. Based on the evaluation by the Japanese long-term expert, results of the test by the short-term experts and the self-evaluation by C/Ps, the degree of understanding amounted to more than 85%. Technology transfer from the Japanese experts was regarded as satisfactory. Based on the questionnaire to C/Ps for the Final Evaluation, most of them are confident in the major skills. (AV) Three (3) surveys on needs assessment and evaluation were conducted in 2002-2004. (PG) Four (4) surveys on needs assessment for Pedagogy were conducted. Survey on need assessment for TWI training and for MTP training was conducted each. Also, surveys on evaluation for training courses were conducted every time. (AV) Annual plan, monthly plan and weekly plan were completed in November 2003. (PG) Annual plan, monthly plan and weekly plan were completed in 2002 and reviewed in 2003-2004. (AV) Curricula for video production course on basic knowledge, scenario writing, shooting, lighting, editing, presentation and evaluation were developed in May 2004. (PG) Curricula for training courses for newly employed instructors, upgrading training courses (course plan, instruction methods, instruction technology, and course evaluation) and training courses for management staff were developed in 2002-2003. (AV) Five (5) manuals for training courses on basic knowledge, scenario writing, shooting, lighting, editing were developed in 2004. (PG) Five (5) manuals for training courses for newly employed instructors were developed in 2002-2003. Also, Four (4) manuals were developed for upgrading training courses.
		3) The ITC gains the capacity to manage the instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods.	- Needs assessment and evaluation activities (date of conduct, contents) - Working plan (date of completion, contents) - Curricula developed (number (courses), date, contents) - Training manuals developed for instructors (number (courses), date, contents)	

Criteria	Evaluation Items		Confirmation Items	Results
	Major Items	Sub Items		
			<ul style="list-style-type: none"> - Training materials developed (number (courses), date, contents) - Courses conducted (number, date, contents, attendants) 	<p>(AG) Three (3) training materials were developed in 2004 (PG) Two (2) training materials (first and second versions) were developed for newly employed instructors and four (4) were developed for upgrading training courses in 2003-2004 (AV) Video aids production training course for upgrading training was developed and held in August-September, 2004. The same course was conducted in November-December, 2004 and will be conducted in March 2005. Total number of participants so far amounted to 13. (PG) 19 training courses for instructors (newly employed instructors, instructors who want to change the area and personnel in public services) and two (2) upgrading courses and four (4) seminars for Pedagogy were conducted in 2002-2004. Total number of participants amounted to 1135, of which 804 were directly derived from the outcome of the Project. (AV) Based on the evaluation by the Japanese long-term experts, the degree of understanding amounted to more than 85%. (PG) Based on the evaluation by the Japanese long-term experts, the degree of understanding amounted to more than 85%. Technology transfer from the Japanese experts was regarded as satisfactory. Based on the questionnaire to C/Ps for the Final Evaluation, most of them are confident in the major skills. Eight (8) counterparts were assigned for audio-visual aids and six (6) were for instruction methods. Also, administrative staffs were assigned. The office space for the Japanese experts, rooms and space necessary for installation and storage of equipment and necessary arrangement of automobiles with drivers were provided. Also, studios were renovated. 4,040.9 million Rials in 1381* 692.2 million Rials in 1382* and 429.3 million Rials in 1383* (-October) were disbursed. (*Iranian Calendar: 1381: March 20, 2002 - March 19, 2003, 1382: March 20, 2003 - March 19, 2004, 1383: March 20, 2004 - March 19, 2005) Four (4) long-term experts were dispatched and assigned.</p>
	Input	<ul style="list-style-type: none"> 1 Deployment of counterpart personnel and administrative staff 2 Buildings, facilities and others 4 Running budget necessary for the Project 	<ul style="list-style-type: none"> - Degree of understanding of counterparts (C/Ps), (up to 85%) - Degree of the technology transfer 	
		Input from Iranian side		
		Input from Japanese side		
(Activities)	1) The equipment necessary for the development, production and use of audio-visual aids is introduced into the ITC, and staff of the ITC gain the ability to maintain the equipment, which	<ul style="list-style-type: none"> 1 Elaborating working plan for procurement and maintenance of the equipment; 2 Procurement and installation of necessary equipment; 3 Production of routine maintenance manuals for the equipment; 4 Training on maintenance of the equipment for the staff of the audio-visual department; 	<ul style="list-style-type: none"> 1 Elaborating working plan for procurement and maintenance of equipment was prepared and elaborated. 2 Necessary equipment was procured and installed properly. 3 The video equipment routine maintenance manual was prepared. 4 The training courses on maintenance of the equipment for the staff of the audio-visual department were conducted. 	

Criteria	Evaluation Items		Confirmation Items	Results
	Major Items	Sub Items		
		allows for the continuous use of equipment.	5 Maintenance of the equipment according to the maintenance manuals;	Maintenance of the equipment was conducted according to the manual.
		2) The ITC gains the ability to develop and produce video aids using the adequate video equipment.	1 Conducting needs assessment and evaluation activities on production of video aids; 2 Elaborating working plan for production of video aids; 3 Designing and development of training manuals on production of video aids;	Needs assessment and evaluation were conducted. Working plan for production of video aids was elaborated. Training manuals on production of video aids were developed.
			4 Training of the staff of the audio-visual department on production of video aids;	Training courses for the staff of the audio-visual department on production of video aids were conducted.
			5 Production of video aids by the staff of the audio-visual department	17 video aids for 10 training courses were produced by the staff of the audio-visual department.
		3) The ITC gains the capacity to manage the instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods.	1 Conducting needs assessment and evaluation activities for the instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods 2 Elaborating working plan for the instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods	Needs assessment and evaluation for the instructor's training courses were conducted. Working plans were elaborated for AV and PG training courses.
			3 Development of curricula for the instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods	Curricula were developed for AV and PG training courses.
			4 Development of training manuals for the staff of the audio visual and pedagogy departments for the instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods	Training manuals were developed for the staff of the audio visual and pedagogy departments.
			5 Development of training materials for the participants of the instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods	Training materials for the participants were developed for AV and PG training courses.
			6 Conducting instructors' training courses on audio-visual aids and instruction methods	Instructor's training courses on audio-visual aids and instruction methods were conducted.

Criteria	Evaluation Items		Confirmation Items	Results
	Major Items	Sub Items		
Process of Activities	Process of activities in terms of the Plan of Operation		<ul style="list-style-type: none"> - Issue or problems on the process of activities, if any - Solutions 	(See items of activities) No major issues were seen on the process of activities.
	Method of technical transfer		<ul style="list-style-type: none"> - Issue or problems on the method of technical transfer, if any - Solutions 	Technical transfer is conducted smoothly through lectures and practice.
	Project Management	Monitoring	<ul style="list-style-type: none"> - Monitoring system - Adjustment of PDM - Change of important external conditions - JCC and SC 	Joint Coordinating Committee (JCC) and Steering Committee (SC) were well functioned on management and monitoring of the Project. PDM was formulated and signed in January 2002. On the occasion of the final evaluation, the original PDM was not modified.
		Relationship and communication among the Japanese experts and C/Ps.		Good working relations are maintained between the Japanese experts and Iranian staff (counterparts and other personnel) of the Project. Each of activity has been carried out with much collaboration between the Japanese experts and C/Ps.
	Ownership of TVTO and ITC in terms of the Project		<ul style="list-style-type: none"> - Participation of the Management staff of TVTO and ITC - Budget allocation - Assignment of C/Ps 	The management staff at TVTO and ITC were positively involved in the Project, although the head of ITC was moved twice in the Project period. Assignments of the counterparts were appropriate.

Annex 3 Evaluation Grid
The Project on the improvement of audio-visual aids and instruction methods in vocational training at the Instructors Training Center in Iran

Criteria	Evaluation Items		Results
	Main Items	Sub Items	
Relevance	Consistency of the Project goal with the national development policies/plans of Iran		The Iranian Government has put high priority on vocational training and human resources development in the Third National Development Plan (2000-2004). Also, the roles and functions for TVTO and ITC will be enhanced in the Fourth National Development Plan (2005-2009), which is under preparation.
	Was target group selection appropriate?	<p>Was target group selection appropriate?</p> <p>Were there sufficient needs for the Project at ITC among the institutions concerned and private sector?</p> <p>Is the size of target group of the Project appropriate? (number of C/Ps in AV and PG departments of ITC)</p> <p>Is the size of target group of the Project appropriate? (number of instructors/trainees of TVTC)</p>	<p>It was appropriate for the Project implementation to select ITC as the counterpart, since it was the only institution that can conduct training for instructors in Iran and carried out the Project most effectively in terms of dissemination of audio-visual aids and instruction methods.</p> <p>There were sufficient needs for the Project on video aids and instruction methods in TVTCs.</p> <p>The size of the target group was appropriate.</p>
	Consistency with ODA policy in Japan. Is approach of the Project appropriate as means?	<p>Consistency with priority assistance subjects of Japanese government</p> <p>Consistency with JICA's country-by-country aid programs</p>	<p>The number of new instructor trained, which was targeted in the Project Document, was rather large considering that the recruitment of instructors was not only in hands of TVTO but Management and Planning Organization (MPO) and other agencies.</p> <p>One of the priorities of the Japanese official development assistance to Iran is set on improvement of vocational training through the Japan - Iran bilateral aid policy consultations in 1999.</p> <p>According to the country aid program to Iran prepared in June 2004, improvement of the quality in the vocational training was emphasized.</p>

Criteria	Evaluation Items		Results
	Main Items	Sub Items	
Effectiveness	Achievement of Outputs		Effectiveness of three (3) outputs was found satisfactory. The achievement of each output has been smoothly converted to the achievement of the Project Purpose.
	Did the standards of audio-visual aids and instruction methods of ITC have upgrade? (Achievement of Project Purpose)	Did ITC provide audio-visual aids with higher quality?	According to the interview with instructors of TVTCs, the quality of the audio-visual aids produced at ITC is high.
		Did ITC provide audio-visual aids in the appropriate quantity and timing?	17 video aids for 10 training courses were completed. Within the remaining period, 11 video aids will be completed and disseminated.
		Did vocational training courses on instruction methods of ITC satisfy the understanding of the participants?	According to the interview with instructors of TVTCs, they were satisfied with the training courses and seminars on instruction methods at ITC and the outcome was applied to actual training courses by them.
	Did the Outputs contribute to achieve the Project Purpose?	Was the audio visual equipment introduced? Have been the maintenance of them conducted appropriately by the C/Ps of ITC?	The audio visual equipment was installed on schedule. One (1) video equipment routine maintenance manual was produced in September 2003. Also, one (1) counterpart in each department was assigned as the person in charge of the routine maintenance activities. Thus, maintenance of the audio visual equipment is conducted appropriately.
		Did the audio-visual aids produced and instruction methods developed meet the needs of TVTC?	Several surveys on need assessment and evaluation were conducted at AV and PG departments. According to the interview with instructors of TVTCs, the audio-visual aids produced and instruction methods developed meet the needs of them as a whole.
		Did the capacity of C/Ps on the development of audio-visual aids improve?	Based on the evaluation by the Japanese long-term expert, results of the test by the short-term experts and the self-evaluation by C/Ps, the capacity of C/Ps on the development of audio-visual aids was improved.
	Did the capacity of C/Ps on the management of the instructors' training courses improve?		19 training courses for instructors (newly employed instructors, instructors who want to change the position and personnel in public services) and two (2) upgrading courses and four (4) seminars for Pedagogy were conducted. The capacity of C/Ps on the management of the instructors' training courses is improved.

Criteria	Evaluation Items		Results
	Main Items	Sub Items	
Efficiency	Were quality, quantity and timing of inputs to the Project appropriate compared to Outputs achieved by the Project?	Number, expertise, period, timing of dispatch of Japanese experts	The Japanese experts have been dispatched efficiently mostly on good timing. They have satisfactorily contributed to progress of all activities in the PDM.
		Type, quantity and timing of installation of equipment	Most of equipment provided by JICA was appropriate in quality with proper and on-timing installation to ITC.
		Number, training contents, training period and timing of C/Ps training in Japan	Based on the interview survey, contents of the training courses in Japan were almost satisfactory although the period was rather short.
		Number, timing of assignment and capability of C/Ps	The core counterparts consist of eight (8) full-time staff for AV and six (6) for PG. Number, timing of assignment and capability of the C/Ps were almost appropriate, although assignment of two counterparts for AV was delayed for about six months.
		Quality, timing, size and usefulness of building and facilities for the Project	The proper office space for the Japanese experts and rooms and space necessary for installation and storage of equipment were provided almost on schedule. Also, studios were renovated.
		Budget allocation by Iranian side	Iranian side shouldered a large amount of cost as the operational budget: 4,040.9 million Rials in 1381, 692.2 million Rials in 1382 and 429.3 million Rials in 1383 (-October). Some disbursements for studio building, however, were delayed.
		Did JCC and SC function well?	Joint Coordinating Committee (JCC) and Steering Committee (SC) well monitored the progress and achievement of the Project.
		Stability of C/Ps assigned	Only two counterparts were moved. The key counterparts (instructors) of ITC, who were not changed from the beginning of the Project, contributed to the achievement of the Outputs.
		Appropriateness of project management	
		Factors facilitated or hampered efficiency of the Project, if any	

Criteria	Evaluation Items		Results
	Main Items	Sub Items	
Impact	<p>Will the Overall Goal, "High quality training are conducted at Technical and Vocational Training Centers (TVTCs)" be achieved?</p> <p>Other positive and negative impacts of the Project</p>	<p>How is the utilization of video aids produced at ITC?</p> <p>Is the capacity of instructors in TVTCs who participated in the training courses at ITC improved?</p> <p>Are there any positive impacts on the instructors of ITC who are not directly involved in the Project in terms of audio-visual aids?</p>	<p>13 video aids produced at the ITC have been utilized at TVTCs in the whole country so far since December 2003.</p> <p>It is too early to evaluate. However, the training courses at ITC are highly evaluated by the participants/instructors from TVTCs. The number of instructors who participated in the training courses for video aids production and instruction methods at ITC has steadily increased.</p> <p>Instructors of several departments or workshops at ITC and TVTC were involved in scenario writing through the production of audio-visual aids.</p>
		<p>Are there any positive impacts on the instructors of ITC who are not directly involved in the Project in terms of instruction methods?</p> <p>Does the project offer support and services to contribute to development of private sector and industrial circles?</p> <p>Other positive/negative effects</p>	<p>Instructors of several departments or workshops at ITC and TVTC participated in the training course/seminar of instruction methods.</p> <p>Although activities of the Project do not directly provide support or services for private sector, the Japanese experts stimulated the counterparts and instructors of TVTCs through needs survey and evaluation to involve private sector and industries.</p> <p>It is observed that instructors of TVTCs had a certain level of recognition in audio-visual aids as an effective tool for vocational training through the field survey in Arak, Saveh and Karaj. Thus, they requested the increase of production in number and speedy dissemination.</p>

Criteria	Evaluation Items		Results
	Main Items	Sub Items	
Sustainability	Are the roles and functions of TVTO and ITC in vocational training clearly defined?		The roles and functions for TVTO and ITC will be clearly mentioned in the Fourth National Development Plan (2005-2009), which is under preparation.
	Does ITC have capability to sustain and manage the activities of the Project?	Capability on operation and management of ITC	Capability on operation and management of ITC is high as a whole, although the head of ITC was moved twice in the Project period.
		Financial soundness of TVTO	TVTO would be financially sustainable by the allocation of a national budget.
	Does the technology transferred through the Project become established?	Capability to provide services with quality to cooperate with private sector	In the Fourth National Development Plan, the recognition of social needs and cooperation with private sector in terms of vocational training are emphasized.
		Acquisition of necessary knowledge and skills among C/Ps on the audio-visual aids and instruction methods	Technology transfer from the Japanese experts was regarded as satisfactory. The basic capability and potentials of C/Ps are high. Based on the questionnaire to C/Ps for the Final Evaluation, most of them are confident in the major subjects. Also, the degree of understanding amounted to more than 85% as a whole according to the evaluation by the Japanese long-term experts, short-term experts and self-evaluation by C/Ps.
Possibility of the technology transfer to other training courses that are not directly involved in the Project		Technology transfer is rather limited in AV and PG departments, although the instructors of several departments or workshops at ITC were involved through production of audio-visual aids and the training courses/seminars of instruction methods.	
	Maintenance of equipment procured by the Project	Video equipment routine maintenance manual was produced in September 2003. Also, one (1) counterpart in each department was assigned as the person in charge of the routine maintenance activities. Thus, routine maintenance of equipment will be sustainable. As for periodical maintenance (3 years after installation in general) and response to unexpected troubles, C/Ps are not so confident according to the interview with them.	

Annex 4 Plan of Operation (1/3)

ACTIVITIES	1st Year				2nd Year				3rd Year							
	2002				2003				2004				2005			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
TERM OF COOPERATION																
1. The equipment necessary for the development, production and use of audio-visual aids is introduced into the ITC; and staff of the ITC gain the ability to maintain the equipment, which allows for the continuous use of the equipment.																
(1-1) Elaborating working plan for procurement and maintenance of the equipment;																
(1-2) Procurement and installation of necessary equipment;																
(1-3) Production of routine maintenance manuals for the equipment;																
(1-4) Training on maintenance of the equipment for the staff of the audio-visual department;																
(1-5) Maintenance of the equipment according to the maintenance manuals.																
2. The ITC gains the ability to develop and produce video aid using the adequate video equipment.																
(2-1) Conducting needs assessment and evaluation activities on production of video aid;																
(2-2) Elaborating working plan for production of video aid;																
(2-3) Designing and development of training manuals on production of video aid;																
(2-4) Training of the staff of the audio-visual department on production of video aid;																
(2-5) Production of video aid by the staff of the audio-visual department.																

Planned
Actual

I: April-June, II: July-September, III: October-December and IV: January-March

Annex 4 Plan of Operation (2/3)

ACTIVITIES	1st Year 2002				2nd Year 2003				3rd Year 2004				2005
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I
3. The ITC gains the capacity to manage the instructors' training courses on audio-visual aids.													
(3-1) Conducting needs assessment and evaluation activities for the instructors' training courses on audio-visual aids;													
(3-2) Elaborating working plan for the instructors' training courses on audio-visual aids;													
(3-3) Development of curricula for the instructors' training courses on audio-visual aids;													
(3-4) Development of training manuals for the staff of the audio-visual and pedagogy departments for the instructors' training courses on audio-visual aids;													
(3-5) Development of training materials for participants of the instructors' training courses on audio-visual aids;													
(3-6) Conducting instructors' training courses on audio-visual aids.*													

I: April-June, II: July-September, III: October-December and IV: January-March

Planned
Actual

* Although the commencement of the training courses was originally set in March 2003 in the Tentative Plan of Operation, the schedule was postponed to June 2004 after the discussions in JCC held on June 10, 2003.

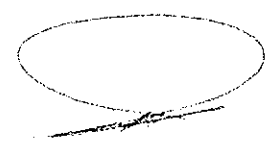
Annex 4 Plan of Operation (3/3)

ACTIVITIES	1st Year 2002				2nd Year 2003				3rd Year 2004				2005
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I
3. The ITC gains the capacity to manage the instructors' training courses on instruction methods.													
(3-1) Conducting needs assessment and evaluation activities for the instructors' training courses on instruction methods;													
(3-2) Elaborating working plan for the instructors' training courses on instruction methods;													
(3-3) Development of curricula for the instructors' training courses on instruction methods;													
(3-4) Development of training manuals for the staff of the audio-visual and pedagogy departments for the instructors' training courses on instruction methods;													
(3-5) Development of training materials for participants of the instructors' training courses on instruction methods;													
(3-6) Conducting instructors' training courses on instruction methods.													

 Planned
 Actual

I: April-June, II: July-September, III: October-December and IV: January-March

Ben



Annex 5 List of Experts

NO	Name	Expertise / Field	Period of assignment	Long/Short-term
1	Yoshiaki UMIMAE	Chief advisor	29 May 2002-31 May 2005	Long-term
2	Daijiro KATO	Coordinator	29 May 2002-31 May 2005	Long-term
3	Masaru HIROKAWA	Instruction methods	1 Jun. 2002-31 May 2005	Long-term
4	Akira TOMINAGA	Audio-visual aids production	29 May 2002-31 May 2005	Long-term
5	Yoshimasa MATSUURA	Operation of video production equipment	25 Nov. 2002-22 Dec. 2002	Short-term
6	Masao MORI	Maintenance of video production equipment	23 May 2003-4 Jun. 2003	Short-term
7	Takeshi ITO	Video production in "Arc Welding"	11 Aug. 2003-7 Sept. 2003	Short-term
8	Masanori UEKI	Management training program	25 Aug. 2003-5 Oct. 2003	Short-term
9	Naoyuki ISHIMOTO	Video production in "Electronics"	23 Nov. 2003-19 Dec. 2003	Short-term
10	Kenji NAKAMURA	Digital VTR & camera maintenance service	14 Feb. 2004-9 Mar. 2004	Short-term

Annex 6 List of Counterparts

Audio-visual Department (Current number of counterparts is eight (8))

No	First and Last Name	Year of Birth	Qualification Obtained	Record of Service	Record of Service in Project	Present Status
1	Mr. Mohsen ELAHI	1966	Associate Degree	10 years	1 Jun. 2002	Instructor
2	Mr. Mansour BABAKHANI	1971	Associate Degree	11 years	1 Jun. 2002	Instructor
3	Mr. Mohsen TAVALLAIE	1973	BS Degree	4 years	4 Aug. 2002	Instructor
4	Mr. Mohammad Reza TORABI	1976	Diploma	8 years	21 Nov. 2002	Instructor
5	Mr. Hasan TAGHIZADEH	1959	Associate Degree	22 years	1 Jun. 2002	Instructor
6	Mr. Rassool KHOSHIDEH	1966	BS Degree	16 years	1 Jun. 2002	Supervisor
7	Mr. Faramarz ROSTAMI	1974	Associate Degree	4 years	1 Jun. 2002	Instructor
8	Mr. Gholam Reza HASHEMI	1971	Associate Degree	7 years	21 Nov. 2002	Instructor

Pedagogy Department (Current number of counterparts is six (6))

No	First and Last Name	Year of Birth	Qualification Obtained	Record of Service	Record of Service in Project	Present Status
1	Mr. Farshid BORHAN AZAD	1969	Associate Degree BS Degree	15 years	1 Jun. 2002	Supervisor
2*	Mr. Jamshid ASADI	1965	MA Degree	15 years	1 Jun. 2002 to 7 Jun. 2004	TVTO Karaj
3	Mr. Ahmad BODAGHI	1972	BS Degree	8 years	1 Jun. 2002	Instructor
4	Mr. Ali ESMAIELZADEH	1968	Associate Degree	15 years	1 Jun. 2002	Instructor
5	Mr. Naser KOSARI	1955	BS Degree	22 years	1 Jun. 2002	Instructor
6	Ms. Maliheh KHEIROLLAHI	1968	BS Degree	4 years	8 Nov. 2003	Instructor
7	Mr. Abbas KARIMI	1971	BS Degree	4 years	8 Nov. 2003	Instructor
8*	Mr. Moosa JABBARI	1967	MS Degree	11 years	1 Jun. 2002 to 1 Dec. 2003	PhD course

Note: Current counterparts are being assigned as a full time instructor. (*) is a person who was transferred from ITC.

Annex 7 List of Counterparts trained in Japan

Audio-visual Department

No	First and last name	Course	Training Institution	Training Period
1	Mohsen ELAHI	Video Equipment Maintenance Techniques	SONY Corp.	5 Jan. to 6 Mar. 2003
2	Mansour BABAKHANI	Digital Video Production	JICA OKINAWA Center	19 Aug. to 12 Dec. 2003
3	Mohsen TAVALLAIE	Digital Video Production	JICA OKINAWA Center	19 Aug. to 12 Dec. 2003
4	Mohammad Reza TORABI	Digital Video Production	JICA OKINAWA Center	24 Aug. to 18 Dec. 2004
5	Hasan TAGHIZADEH	Video Equipment Maintenance Techniques	SONY Corp.	4 Oct. to 9 Nov. 2004
6	Rassool KHOSHIDEH	Video Equipment Maintenance Techniques	SONY Corp.	5 Jan. to 6 Mar. 2003
7	Faramarz ROSTAMI	Video Equipment Maintenance Techniques	SONY Corp.	8 Oct. to 21 Nov. 2003
8	Gholam Reza HASHEMI	Video Equipment Maintenance Techniques	SONY Corp.	4 Oct. to 9 Nov. 2004

Pedagogy Department

No	First and last name	Course	Training Institution	Training Period
1	Farshid BORHAN AZAD	Seminar on Enhancing Vocational Training	OVTA	8 Oct. to 22 Nov. 2002
2	Jamshid ASADI	Seminar on Training Management	OVTA	10 Jun. to 27 Jul. 2003
3	Ali ESMAIELZADEH	Seminar on Enhancing Vocational Training	OVTA	7 Oct. to 21 Nov. 2003
4	Naser KOSARI	Seminar on Enhancing Vocational Training	OVTA	7 Oct. to 21 Nov. 2003